

9 高齢者の視点から考える

急速な高齢化が進展し、高齢者の元気と安心が地域社会の元気と安心につながる時代がやってくる。高齢者が就業や地域活動、その前提としての学習などライフコースの多様な選択の中で、年齢で区切る考え方がゆるやかになり、生涯現役の自立した主体になるとともに、地域や職場の中で世代をつなげる結節点の役割を担い、つながりと共助の仕組みが整っていく可能性を考える。

- ・ 100 人のコミュニティの 30 年後は・・・
 - 高齢者は 20 人から 32 人と 1.6 倍に
(元気な高齢者は 18 人から 26 人、要介護者は 2 人から 6 人)
 - 子供 (14 歳以下) は 14 人から 8 人、15~64 歳は、66 人から 44 人に減少
- ・ 生き生きと元気に活躍している高齢者が増加し、健康寿命が伸びている
 - 生活習慣病の予防に重点を置いた食生活や運動改善プログラムの参加者が増加し、健康寿命が伸びている。
 - 歩きやすい環境や生活に不可欠なサービスの集約が進み、高齢者が積極的に外出し、健康づくりに取り組んでいる。
 - 少子化が進み学生数が減少するなか、大学など高等教育機関において高齢者向けの履修コースが充実し、高齢者がその成果を地域活動や地域に根ざしたしごとづくりにつなげ、地域コミュニティを支えている。
 - 世代を越えて学ぶ人が増え、地域で小グループの学びの輪が広がっている。
- ・ 長い人生に備え、自らの人生設計に基づき若年期から様々な活動に取り組む人が増えている
 - 長期的な就労意欲を高め人材を確保するため、長期休暇制度を導入する企業が増えている。
 - 自らのライフプランにあわせてボランティア活動や学習などに取り組む人が増えている。
- ・ 高齢者を支えるさまざまなサービスが展開している
 - NPO や元気な高齢者が、見守り、コミュニケーションを含めた配食サービスや電球交換など高齢者の日常生活に身近なサービスを提供している。
 - 要介護者の増加に対応し、介護を担う家族を支援するための NPO 活動が広がっている。
 - 住み続けた家で安心して過ごすため、高齢者世帯のみならず子どもと同居する高齢者、戸建てに限らず集合住宅の住宅・土地などの資産を担保に生活資金を貸付けたり、日常の家事支援や介護サービスなどの現物給付を行う兵庫型リビング・ステージが共助社会の仕組みとして広がっている。
 - 不動産を売却し、その物件をリースしながら住み続ける権利移転型のリビング・ステージや不動産を賃貸する住替型リビング・ステージも広がっている。
- ・ 経験や技能を生かして働く高齢者が増加している
 - 定年延長や継続雇用が定着し、生涯現役で働く高齢者が増えている。
 - 製造業など熟練の「匠の技術」を持つ高齢者が、若手に技術を伝承しながら働いている。
 - 経理や営業などの専門技術、経験を持つ高齢者が NPO やコミュニティ内で活躍している。

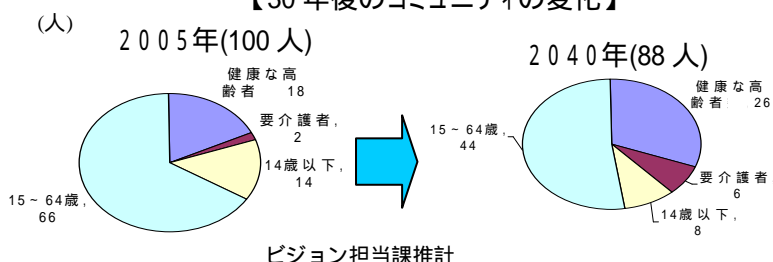
- 高齢者のライフスタイルに合わせて、在宅勤務制度や短時間、短日数労働の勤務体制を導入する企業が増えている。
- 生涯現役で働きたい高齢者を対象とした学習研修制度が整い、スキルアップを図りつつ、転職する高齢者も増えている。
- ・ 日常の健康から看取りまで安心の医療サービスが提供されている
 - 緊急の対応から健康診断の結果まで相談にできる身近な医師がおり、地域での診療所と病院の連携も進み、安心して医療を受けられる、プライマリーケアが確保されている。
 - 家族や友人との交流の機会が重視され、施設や在宅で看取りを迎えることができるターミナルケアが広がっている。
- ・ お互いが支えあって暮らす住まい方が広がっている
 - 地域の空きが増加し、親又は子供世帯の近居・隣居が容易となり、孫の面倒を見るなどお互い支えあいながら住んでいる。
 - 世帯がそれぞれ独立した部屋に住みながら、食堂など共有スペースを有して家族のように支えあいながら住んでいる。
- ・ 地域のつながりが安全安心を確保している
 - 高齢者単独世帯の増加から地域の見守りが重要となり、自治会、老人会などが連携・活動し、地域のつながりや連帯感が生まれ、地域で安全安心を確保している。
- ・ 多世代のつながりをつくる場が生まれ、地域の活性化につながっている
 - 老人会をはじめとする地域団体が、他の組織と連携を図り、地域行事や世代間交流を積極的に実施し、地域の活性化につながっている。
 - 祭りや商店街行事などに高齢者だけでなく若者も参加し、多世代がつながる場となっている。
 - 地域の空き施設や地域のコミュニティサロンを活用して、子どもや高齢者、障がい者が集う場ができ、地域のつながりができている。
 - 福祉施設や学校の食堂施設を共有し、高齢者と子どもの交流が深まっている。
- ・ 地域ぐるみで子どもを育てている
 - 子供が減少するなか、地域ぐるみの子育ての大切さが改めて認識され、子ども達の顔や名前を地域の人たちが知り、登下校時、公園等での見守りが行われている。
 - PTA や地域の住民が連携して、学校や地域の集まりの機会などを通じて、積極的に子ども達に地域への愛着や生き方などを伝え、地域の教育力を高めている。

シナリオの背景

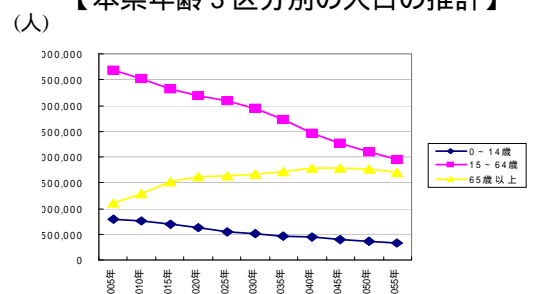
< 比率が高まるだけでなく実数が増加する高齢者 >

人口が減少するなか、高齢者が占める割合は、18%増加し 12 人増加

【30年後のコミュニティの変化】

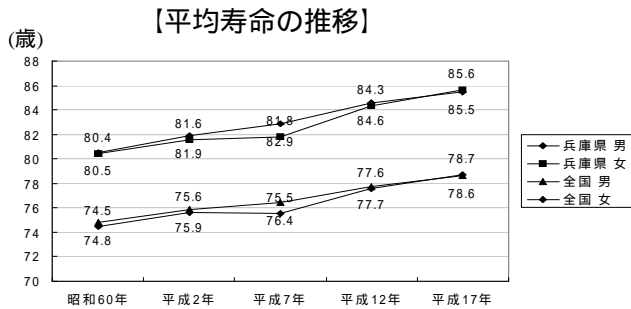


【本県年齢3区分別の人口の推計】

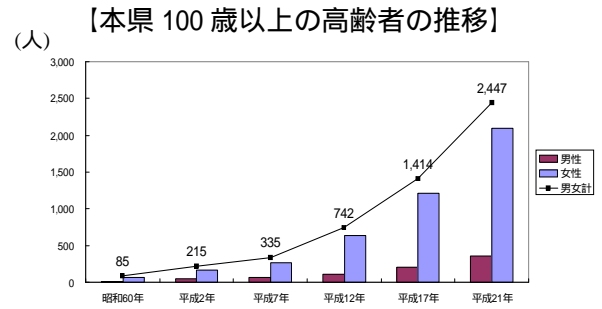


<長くなる人生の高齢期>

- ・生活環境や医療水準の向上により、平均寿命、健康で障害のない期間（健康寿命）が長くなっている。（本県健康寿命：男性 76.55 歳 女性 80.41 歳）
- ・100 歳以上の高齢者は 20 年前と比較すると約 10 倍に増加している。

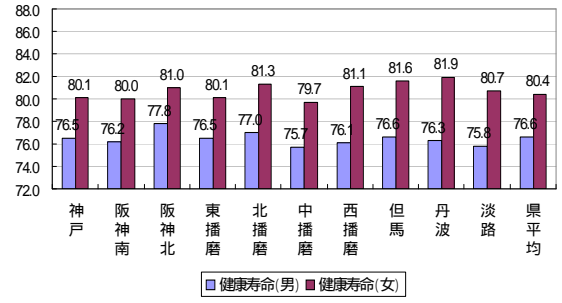
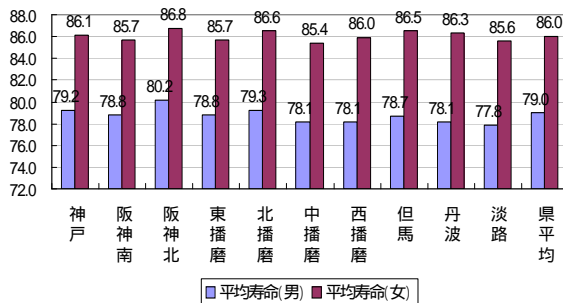


出典：国勢調査



出典：県高齢社会課調

【地域別：平均寿命と健康寿命】

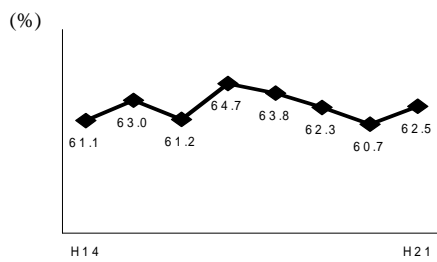


国勢調査報告・人口動態統計等を用いてビジョン担当課作成

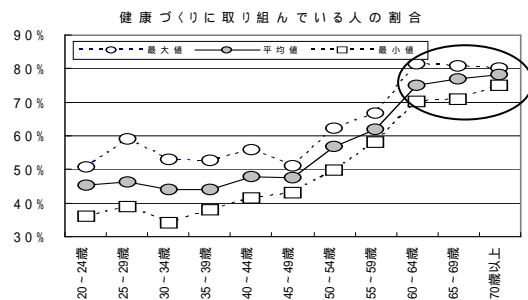
<健康づくりへの意識が高い高齢者>

- ・健康づくりに取り組む人の割合は全体では横ばい傾向だが、60歳以上で健康に取り組んでいる人の割合はおおむね7割を越えている。

【健康づくりに取り組んでいる人の割合 左：全県推移、右：年齢別3カ年の変動】

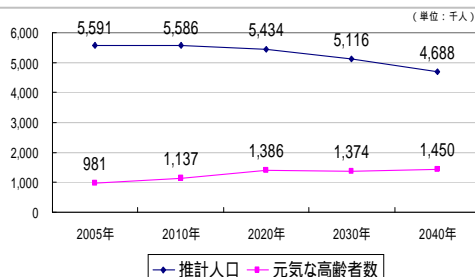


出典：美しい兵庫指標



【健康な高齢者数推計】

2040年には健康な高齢者は1,450千人となり、人口の約3分の1を占めている。



健康な高齢者数：推計人口 - 要介護者推計（5歳階層別人口の推計に現在の各年齢層での要介護出現率を乗じて算出（ビジョン担当課推計）

専門家の意見

『活動的な老い（アクティブ・エイジング）』
単に身体的に活動的というものではなく

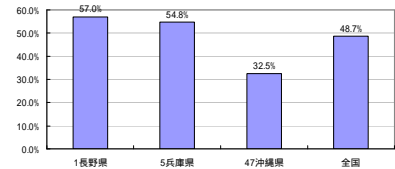
社会的、経済的、精神的、文化的、政治的な事柄に継続的に参加・関与することを通じて、家族、友人、地域、社会に貢献

自立、参加、尊厳、優しさ、自己充実を原則

世話される対象から権利の主体へ
（神戸大学小田教授）

< 高齢者等のための設備がある住宅割合は全国 5 位 >

- ・「手すりがある」など高齢者等のための設備がある県内の住宅の割合は 54.8%と全国 5 位となり、住みやすい状況となっている。

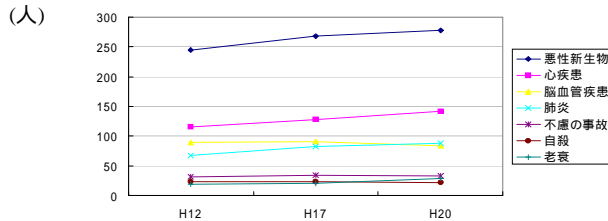


出典：H20 住宅・土地統計調査

< 生活習慣病が死因の 6 割 >

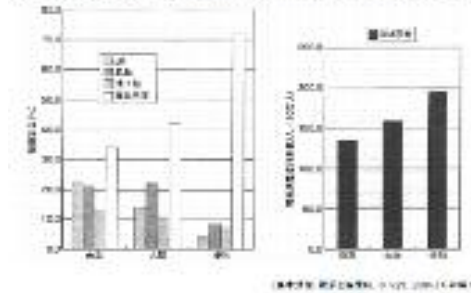
- ・死因の 6 割を占める悪性新生物、心疾患、脳血管疾患はいずれも生活習慣病であり、その取組が急務。また、車の利用が多いほど糖尿病患者が多い傾向がうかがえる。

【県内死因別死亡率(人口 10 万対の推移)】



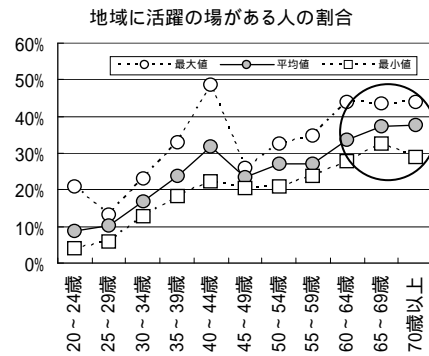
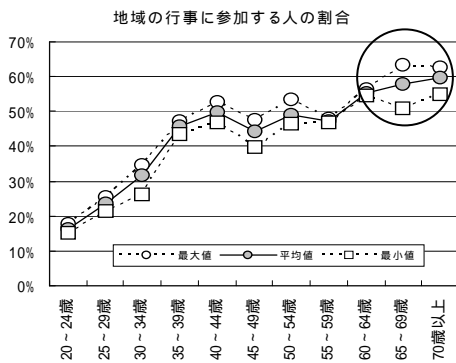
出典：人口動態調査

東京、大阪、近畿地区における自動車乗用率割合と糖尿病発症数



< 地域行事に参加し、地域で活躍している高齢者 >

- ・地域の行事に積極的に参加し、地域に活躍の場を求めている高齢者が多い。



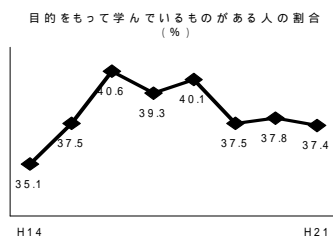
出典：美しい兵庫指標

= 生涯学習講座などの学びを生かし NPO を立ち上げた高齢者(川西市) =

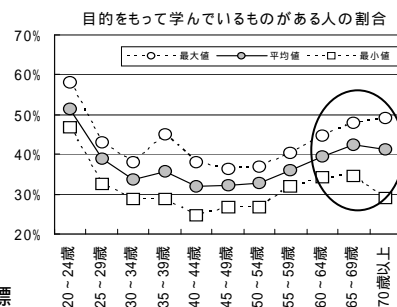
定年退職後に生きがい探しに高齢者大学・生涯学習講座に通い、2 年間の学習のあと、自治会活動を経て仲間と地域文化の保存活動のための NPO を立ち上げ地域活動に取り組んでいる。

< 他世代に比べ学習意欲の高い高齢者 >

- ・目的を持って学んでいる人の割合は低下傾向だが逆に 60 歳以上ではその割合が高い。



出典：美しい兵庫指標



= カレッジリンク (神戸市東灘区) =

神戸市東灘区の高齢者専用住宅では、関西大学と連携して入居者がスクールバスで通学し、学生とともに授業を受けられる。共通の関心を持つ友人や学ぶことを通じた楽しさが生きがいになっている。

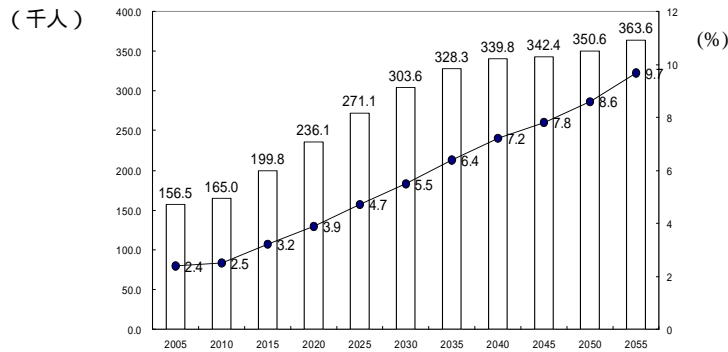


関西大学(大阪府吹田市)

< 増加する要介護者、介護職員の離職率の高さ >

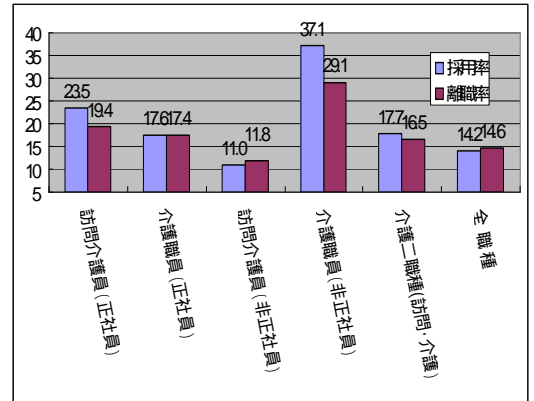
- ・高齢化に伴い要介護者も増加し、2040年には現在より18万3千人多い34万人に急増する。介護サービス人材の需要が高まる一方で介護職員の離職率が高い。
- ・地域で介護を支える人材の育成や介護する人を支える取組が必要になってくる。

【県内要介護者数推計とサービス業における介護サービス事業従事者数の占める割合の推計】



要介護者推計は5歳階層別人口の推計に現在の各年齢層での要介護出現率を乗じて算出。介護サービス事業従事者の就業人口に対する比率は、現在の要介護高齢者に対する比率で介護サービス事業従事者を確保した場合の就業人口推計に占める割合(ビジョン担当課推計)

【H20 県内介護職の採用率と離職率】



出典：介護労働の現状 (財)介護安定センターよりビジョン担当課作成(全職種は全国の率)

県民の声から・・・

- 「仕事がついて続かないのではなく、ここ数年は、現場で何年も経験を積んだ職員が燃え尽きて辞めてしまうことが多い。」(豊岡市介護施設職員)

= 要介護者が共同で暮らすグループハウス(尼崎市) =
 スタッフが常駐しているが、自分でできることは自分で、入居者同士で助け合っている。一人暮らしでは生活のすべてができない、あるいは不安だという高齢者に介護保険で手当てされない見守りというサービスを提供している。



グループハウス

= 介護する人を支える場を提供するNPO(西宮市) =
 始めたきっかけは、私自身が身内を介護する立場になったときに介護者が社会から隔離されることがわかり、介護者を支えていくことが必要だと感じたから。「介護する人」をサポートしないといけない。

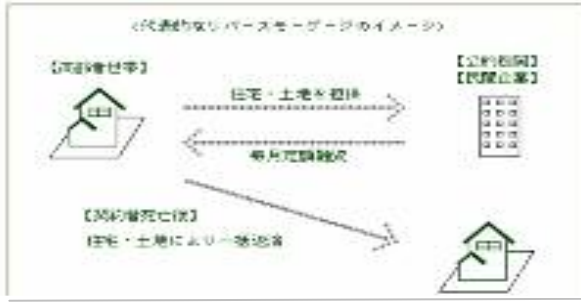


NPO「つどい場さくらちゃん」

< 利用対象が限定され、普及していないリバースモーゲージ制度 >

- ・主に公的機関(各都道府県社会福祉協議会)と民間銀行において制度を設けているが前者は低所得者向け、また、両者とも担保となる居住用不動産は一戸建てに限られ、子どもとの同居世帯が認められないなど利用対象者が限定されている。
- ・高齢者の経済的自立を高めることは、若年層の負担の軽減につながることから制度の普及と所得要件の引き上げなど要件の見直しが必要。特に、都市部でタワー型マンションなどが増加しており、土地・戸建てに偏重した担保物件対象の見直しは不可欠である。

【リバースモーゲージ制度】



専門家の意見

生活資金を確保する手段であるリバースモーゲージはこれからの高齢社会で必要であり普及が必要（将来像研究会豊かな暮らしチーム）

= 担保型リバースモーゲージ（県社会福祉協議会）
 低所得の高齢者世帯（世帯全員が65歳以上）に対し、戸建ての居住用不動産を担保として生活資金を貸し付け。所得要件は市町村民税非課税世帯。資金は土地の評価額の70%が上限。（土地の評価額は1,500万円以上）貸付金額は月額300,000円以内

= 権利移転型リバースモーゲージ（フランス）
 所有する不動産を売却しその物件をリース物件として賃借するリース方式。売却資金を得ながら引き続き同じ場所に居住し、購入者に家賃を支払う。

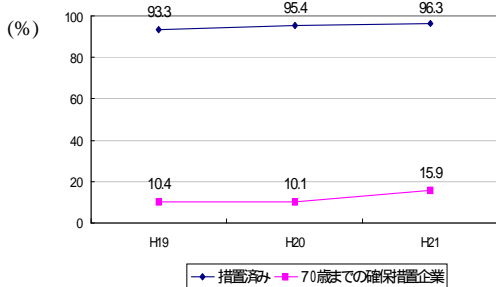
= 住替型リバースモーゲージ（移住・住みかえ支援機構）
 移住・住み替え支援機構が50歳以上の世帯の持ち家を最長で終身にわたって借上げて転貸し、賃料収入を保証する。自宅を売却することなく住みかえや老後の資金として活用

<進む高齢者の雇用確保措置>

- ・企業における高齢者雇用確保措置（定年の廃止、定年の引き上げ、継続雇用）は進展し、70歳まで働くことのできる企業も増加している。

【県内高齢者雇用確保措置した企業の割合】

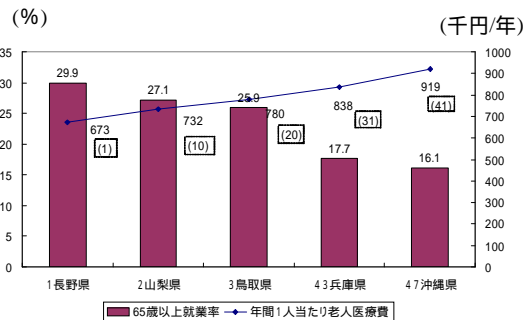
定年の廃止、定年の引き上げ、継続雇用制度の高齢者雇用確保措置を導入した51人以上の企業の割合
 ... H19 定年63歳 H22:64歳 H25:65歳



出典：兵庫労働局

【65歳以上就業率と1人当たり老人医療費の比較】

就業率が高い県ほど老人医療費が低い関係が見られる。（表中のカッコ書きは老人医療費の低い都道府県別の順位：H17 国勢調査、厚生労働省調査）



= 定年がなく熟練技術者が活躍 = (高砂市)

定年は63歳だが、継続雇用を希望する者全員を65歳まで再雇用し、65歳以降も本人の希望等に基づき、継続雇用を続けている。

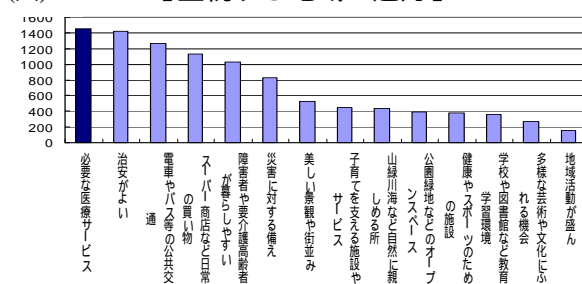


活躍する高齢者

<医療サービスへの期待、地域偏在が大きい医師数>

- ・県民意識調査において、重視する地域の魅力として「必要な医療サービス」と回答したものが最も多く、医療サービスへの期待が高い。
- ・医師数は、地域別（第2次医療圏）の偏在が大きく、面積当たりで比較すれば、人口が少なく面積の広い西播磨、但馬、丹波等の地域の医師数が少ない。

【重視する地域の魅力】



出典：H20 県民意識調査

平成20年 人口10万対医師数・100平方km当たり医師数 (単位：人)

区分	人口10万対医師数	100平方km当たり医師数
圏域		
神戸	270.6	753.6
阪神南	244.7	1,509.2
阪神北	162.2	243.3
東播磨	163.4	441.4
北播磨	156.1	50.0
中播磨	183.3	132.8
西播磨	144.4	24.5
但馬	162.4	14.1
丹波	153.5	19.9
淡路	188.8	46.3
兵庫県	208.8	139.3

H20 医師・歯科医師・薬剤師調査よりビジョン担当課作成

- ・緊急の場合の対応から健康診断の結果まで相談できる身近な医師を確保し、地域での診療所と病院の連携により安心して医療を受けられる医療体制の構築が重要に。
= 質の高い地域医療を支える総合病院を核とした安全安心の確保（但馬地域） =
医師不足等による地域医療崩壊の危機の中、県はへき地医療のモデルとして、但馬地域で、急性期・慢性期医療の分離、診療科間の連携をスムーズにし患者の多様なニーズに応える「総合診療医」の養成を軸に医療体制の再構築を進めている。

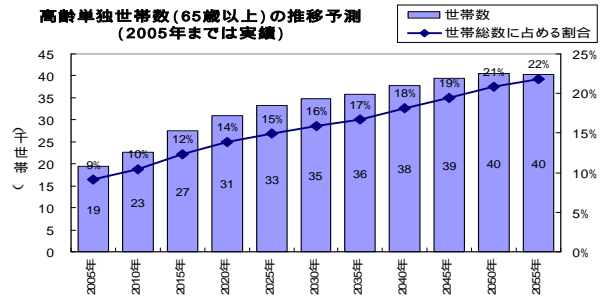
< 増える高齢者単独世帯 >

- ・近隣のつながりの希薄な地域・場所では、1人暮らしの高齢者が地域で孤立した状態で亡くなるケースが増加する恐れがある。

県民の声から・・・

「マンションではエレベーターでしか顔を合やす機会がなく、両隣ぐらいいしか知り合いがないという人が多い。」（武庫川団地自治会の理事長）

高齢単独世帯数(65歳以上)の推移予測
(2005年までは実績)



ビジョン担当課推計

= 地域の高齢者に安心と食を届ける NPO（神戸市） =

「食」を通じて、海の幸や農業、環境や自然、暮らしのあり方を考えて新しい福祉コミュニティをつかっていきたいと旬の食材をたっぷり使って栄養バランスのよい昼食を提供するとともに、地域に住む独居、虚弱高齢者の昼・夕食の弁当を配達。お年寄りの話を聞いたり、自宅を訪問して聞き取りなども実施している。

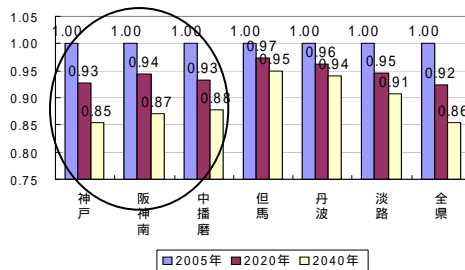


配食を実施する NPO

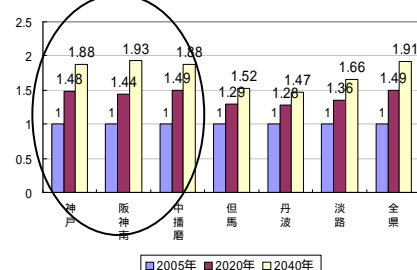
< 都市部で進む世帯人員の減少、高齢化 >

- ・今後、都市部ほど世帯人員の減少、高齢化率の伸びが高くなる。

【世帯人員の減少 2005 年対比】



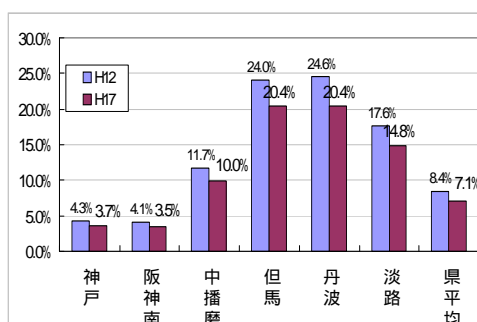
【高齢化率の伸び 2005 年対比】



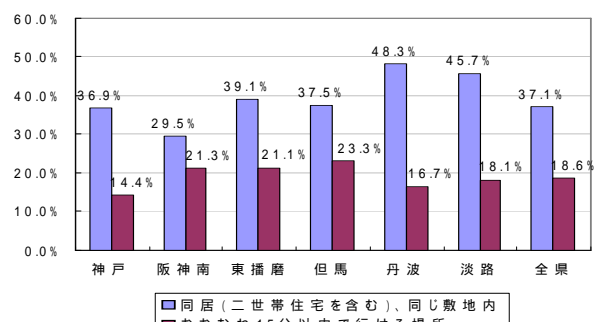
（出典）兵庫県の世帯数の将来推計について H20.11 ビジョン担当課推計

< 3世代同居の減少 >

- ・全地域で3世代同居が減少。都市部において低く、多自然居住地域では高くなっていく。 【3世代同居の減少】



（出典）国勢調査



（出典）H21 県民意識調査

<異なる世帯や世代による支えあった住み方>

- ・ 家族が支えあって住む暮らし方がある一方で、家族関係にとらわれずに異なる世帯が日常の生活を支えあって住み暮らし方もできている。

= 異なる世帯が助け合う暮らし (神戸市) =

世代を超え、互いに支えあいながら、血縁関係のない世帯でシングルマザー、単身者から高齢者までの3世代が大きな家族のように暮らしている。

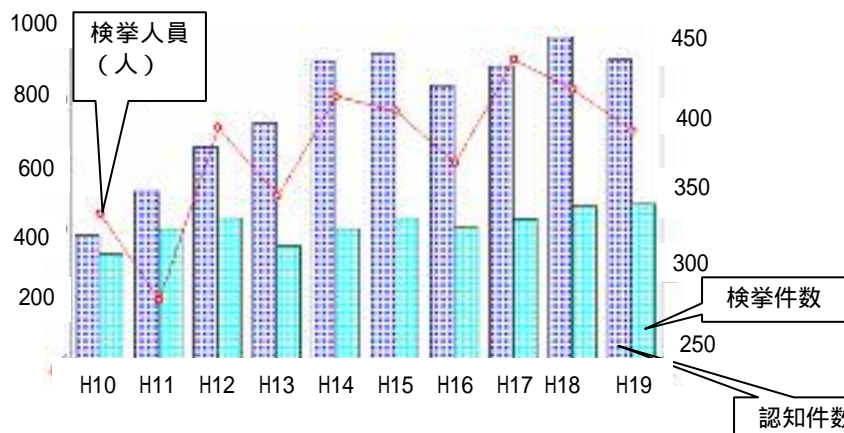


コレクティブハウス

<地域での安全安心の確保>

- ・ 重要犯罪の認知件数は1000件前後で推移しており、全国的でも6位となっており、地域での自主的な取組も安全安心の確保にとって重要になっている。

【本県における重要犯罪の認知件数の推移】



【重要犯罪の認知件数】

都道府県	認知件数
東京	2,366
大阪	2,215
愛知	1,228
埼玉	1,218
神奈川	1,188
兵庫	991
福岡	971
千葉	889
北海道	773
静岡	495

(重要犯罪: 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐、強制わいせつ)

= ニュータウンでの地域活動への巻き込み (神戸市西区) =

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識のもと、マンションの販売説明会に自治会として出席し、「この地域は安全パトロールなど、安心して住めるようにみんなで取り組んでいるところ。地域に入ってくる以上は役割を果たしてほしい」と説明して理解と協力をお願いしている。ほとんどの世帯は自治会に100%加入し、活動に協力、参加している。



井吹台ニュータウン

県民の声から・・・

- 町内会のような小さな単位で、危険な箇所がどこにあるかなど、地元にいる人しかわからないような情報を盛り込んだ防災マップづくりを行うべき。災害時に、どこに逃げればいいのか、近くの安全な建物に誘導することもできる。(淡路地域夢会議)
- 危機管理について、地域でも緊急事態がすぐに連絡できることが必要。地域全体で情報がうまくやりとりできれば、地域としての一体感も出てくるのではないかと。(神戸地域夢会議)

<持続的な活動をしている老人クラブほど地域に関われ、地域と連携して活動を実施>

- ・ 被災後5~10年の時期に活発だった老人クラブはその後も活発さを維持し、他の地域組織と連携している割合が高い。また、防災活動や見守り活動だけでなく、地域行事や世代間交流を実施している。

【震災過程で活発になった活動内容】

活発な団体(1)安否確認 66.2% (2)地域行事 52.0% (3)地域福祉活動 39.4% (4)ボランティア活動 36.9%
 低調な団体(1)安否確認 43.8% (2)特になし 28.8% (2)防災活動 28.8% (4)ボランティア活動 27.5%

出典 ひょうご震災記念21世紀研究機構「被災地における老人クラブの復興経験と現状に関するアンケートの結果」

<地域で進む多世代のつながりづくり>

- ・世代を超えて、地域の資源を生かした誰もが気軽に集える場所づくりや都市部でのマンションコミュニティの交流などさまざまなつながりがでてきている。

= コミュニティレストラン（西脇市） =

国登録有形文化財「旧来住家住宅」の敷地内にあり、主婦、ホテルを定年で辞めた人など、30代から70代までの人が日替わりでシェフを務め、地元高校生がお店に入ったときはエプロンやランチオンマットなど播州織で演出するほか、障がい者の方を招いたお食事会を実施するなど、レストランを通して地域のつながりが増えてきた。



コミュニティレストラン 梅吉亭

= 小規模集落との交流を図るマンションコミュニティ（神戸市東灘区） =

マンションの住民同士や地域との交流を促そうと、東灘区が、イベントなどを支援する「オトナリ・コミュニティ」事業を始めた。小規模集落が参加し、野菜の販売や新米の振る舞いを行った。今後も交流を継続していく予定。



集落と交流を図るマンションコミュニティ

= 敷地内に学生が住み、地域に施設を開放している

高齢者施設（神戸市） =

高齢者施設の一部を一般賃貸住宅として学生に開放し、また、当該施設の談話室を地域の図書館にするなど、多世代・地域とのつながりを重視した高齢者施設が開設された。



ゆいま～る伊川谷

= 隣人祭り（フランス） =

フランスでは、同じ建物、地域に暮らす人たち、働く人たちがティーパーティや食事の持ち寄りなどの催しを行って、互いに顔見知りの関係を築く『隣人祭り』というイベントがあり、日本でも兵庫でもその活動が広がっている。

県民の声から・・・

- 祭りや伝統文化を大切にする地域は、人を大切にする地域。祭りなど自分たちのふるさとを思う気持ちをひとつのキーワードとして、地域づくりを考えていきたい。（長期ビジョン推進委員会）

<地域における子育ての広がり>

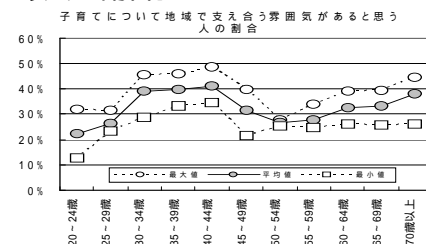
- ・地域において子育て支援に参加してもよいという声は多く、子育てについて地域で支えあう雰囲気が醸成されつつある。

【地域における子育て支援】

(1)是非参加したい	14.7%
(2)参加したい	41.9%
(3)あまり参加したくない	12.5%
(4)参加したくない	9.3%
(5)わからない	21.5%

出典 H18 第1回県民エッセ「少子対策について」

【子育てを地域で支えあう雰囲気があると 思う人の割合】



出典：美しい兵庫指標

=おやじーず（明石市）=

地域の子どもを大切に育てるためには父親がもっと子育てに参加してほしい、とPTAの父親有志で「おやじーず」の会を設立した。学校でのキャンプや清掃活動、米づくり体験学習などを実施している。



米づくり体験学習

=まちづくり協議会がNPOで学童保育（宝塚市）=

地域の家庭と仕事を持つ女性に何とかしてあげたい、何より子どもに幸せになってほしいからと、まちづくり協議会がNPO法人を設立。地域と保護者と行政の連携で問題解決の道ができた。

10 多文化共生で暮らす姿から考える

世界化の進展に伴い、国境を越える人の移動が活発化する。兵庫の歴史を振り返ると、日本開国時の神戸居留地の外国人が、明治の産業や文化の礎の築きに大いに貢献してきた。世界の人々から選ばれる魅力ある地域づくりをすすめることにより、兵庫で活躍する外国人を増やすなど、グローバルな時代にふさわしい、すべての兵庫県民が多様な文化を共有しながら互いを高め合う、世界都市・兵庫が実現するシナリオを考える。

- ・ 経済のグローバル化に伴い、しごとの場を求める外国人県民が増加する
 - 兵庫に集積する研究機関や外資系企業に活躍の場を求める外国人県民が増加。
 - 特に SPring-8 やスーパーコンピューターをはじめとする科学技術基盤が優秀な研究者等の魅力になり、優秀な人材が活躍の場を求め集積。
 - EPA（経済連携協定）の締結国が増え、看護師や介護福祉士など資格を持った熟練の外国人県民が地域の担い手として活躍している。
 - 国内在留にかかる制度の障壁が緩和され、働きやすい環境づくりが進む。
 - 兵庫で働きたいと思う外国人データベースが構築され、人材の職歴やスキルと県内企業のマッチングがすすむ。
- ・ 住宅、学校、教会等の充実した生活基盤が魅力となり、地域に定着する外国人県民が増加
 - 県内居住を希望する外国人を対象にした、住宅の斡旋や各種手続きを行うワンストップ型の窓口が整備され、すべての外国人県民が不安なく、新たな生活をスタートさせることができる。
 - 学校や NPO などによる日本語教育の充実等、地域で日本語が学べる環境が整い、互いの文化を共有しやすい環境になる。
 - 教会や寺院、外国人学校等が外国人県民のニーズに応じた施設が暮らしに安心感を与える。
 - 自然や景観の美しさが魅力となり、兵庫を居住地に選ぶ外国人県民が増加。
 - 外国人県民のライフスタイルが兵庫で「働く」から「暮らす」に変化し、滞在の長期化・永住化が進展。
- ・ 文化の違いを乗り越えて、共に暮らしやすい地域づくりが進んでいる
 - 外国人県民が地域のコミュニティに溶け込んで暮らしている。
 - 外国人県民が困ったことがあればすぐに相談し、支えてくれる人々がいる。
 - 地域での行事やまつりに外国人県民が参加している。
 - 外国人県民との相互理解がすすみ、地域一丸となった地域づくりが展開している。
- ・ 兵庫に暮らす外国人県民が海外とのネットワークの結び目になる
 - 留学生が卒業後兵庫県で就職し、海外との経済活動が活発に。
 - 兵庫での活躍を求めてやってくる留学生の I ターン現象が起こる。
 - 兵庫に暮らす外国人県民より、兵庫の地域資源等が発信され、観光客の増加につながってゆく。

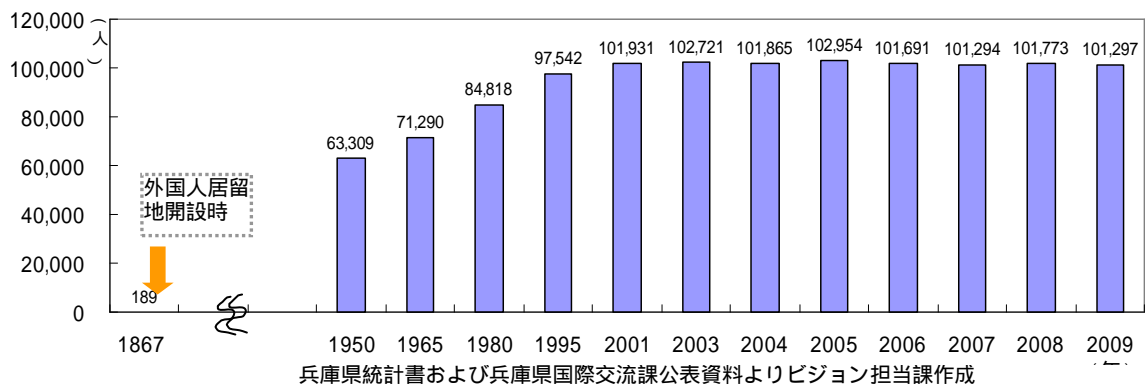
- ・兵庫の魅力が世界に発信され、兵庫を訪れる海外からの観光客が増加する
 - 世界遺産や震災復興のプロセスに注目が集まり、「HYOGO だけの体験」を求める人々が増加。
 - 兵庫のグルメや歴史、文化、自然、温泉等の地域資源が活用され、コンテンツツーリズム、エデュケーションツーリズム、アグリツーリズムなどへ発展する。
 - 兵庫の美しい景色等が映画に使われ、ロケ地を訪問する外国人旅行者が増加。
 - 医療産業等の先進的な取組が海外の人々を魅了し、メディカルツーリズムが活発化。
 - 入国審査の簡易化や特区制度の活用により、兵庫を訪れる人がさらに増加する。

シナリオの背景

< 地域の世界化に伴う外国人県民の変化 >

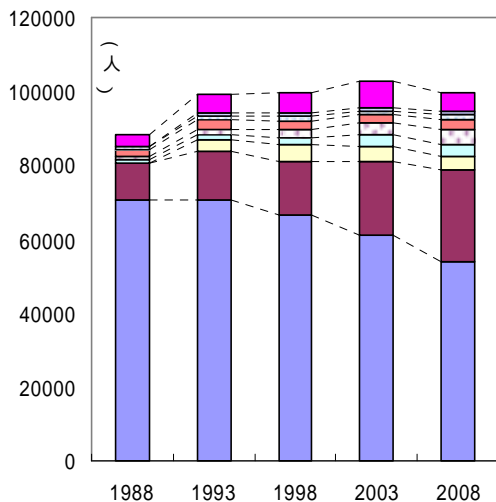
- ・外国人県民数は長期的には増加傾向が続いているが、近年横ばい状態となっている。グローバル化に伴い、人の移動がますます活発化することが予測される中で、海外の人々に選ばれる「魅力ある地域」となることが必要となる。

【県内外国人登録者数の推移】



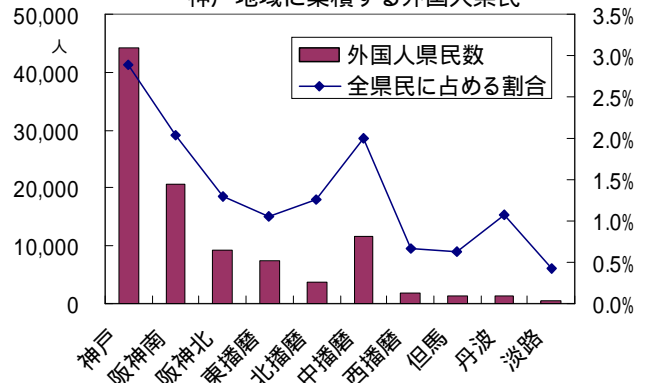
【県内外国人県民の出身国別内訳の推移】

～大部分を占める韓国・朝鮮人は高齢化に伴い、比重が減少。一方で中国人やブラジル人は増加傾向に～



【県内外国人県民の地域別分布】

～神戸地域に集積する外国人県民～

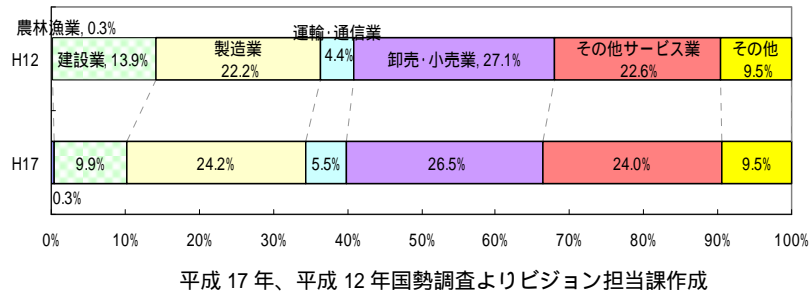


兵庫県国際交流課公表資料よりビジョン担当課作成

- 韓国・朝鮮
- 中国
- ブラジル
- フィリピン
- ヴェトナム
- アメリカ
- インド
- ペルー
- 無国籍・その他

在留外国人統計よりビジョン担当課作成

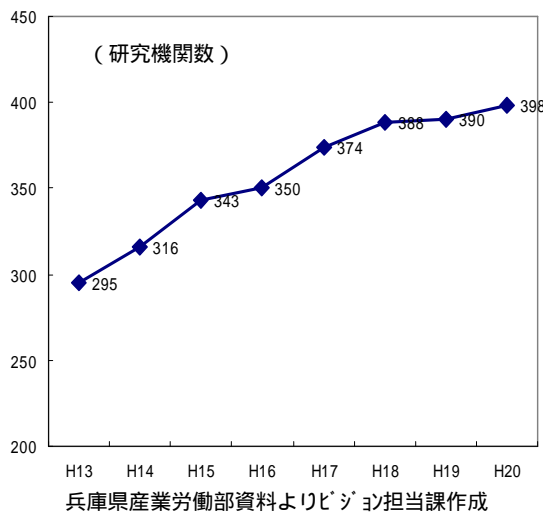
【県内外国人県民の産業別就労内訳】
 ~ 建設業が減少。製造業、サービス業が増加傾向に ~



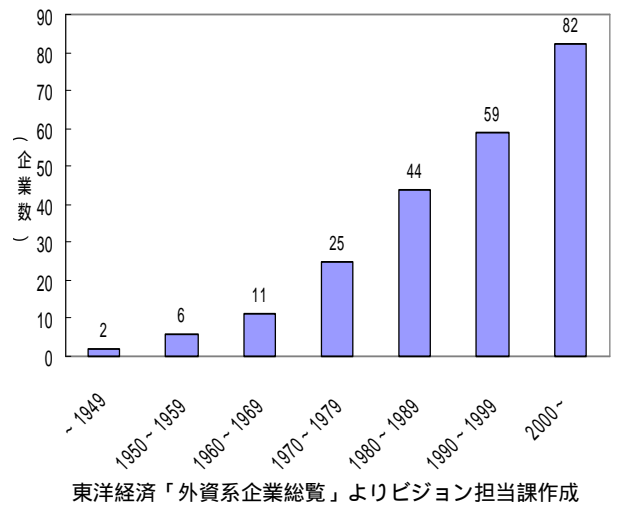
< 増える県内研究所や外資系企業 >

- ・ 県内研究所や外資系企業数は増加。外国人県民の活躍する場が広がっている。

【県内研究所設置数の推移および現在分布状況】



【県内に本社を置く外資系企業数の推移】



< 世界をリードする兵庫の科学技術基盤 >

- ・ SPring-8 や次世代スーパーコンピューター等の科学技術基盤は海外の研究者の魅力となっている。

県民の声から・・・

- SPring-8 は放射光施設としては世界一だ。SPring-8 の 8Gev に対して台湾にある放射光施設は 1.5Gev に過ぎない。SPring-8 を使えることは技術者にとっては大きな魅力だ（陳政棋氏：台湾出身）
- 来日のきっかけは「SPring-8」が使えることが魅力的だったから。SPring-8 は世界最高性能の放射光施設であり、インドでもその存在は有名。これを自分の研究に使うことができるということは非常に魅力的だった。また、ここに来ている研究者は非常に優れた人が多く、満足している。（J.Jeyakanthan：インド出身）

< 外国人介護福祉士・看護師候補者受入のはじまり >

- ・ 経済連携協定（EPA）に基づき県内でもインドネシア、フィリピンの 2 カ国から介護福祉士、看護師の受入が始まっている。しかし、介護福祉士候補者は上限 4 年、

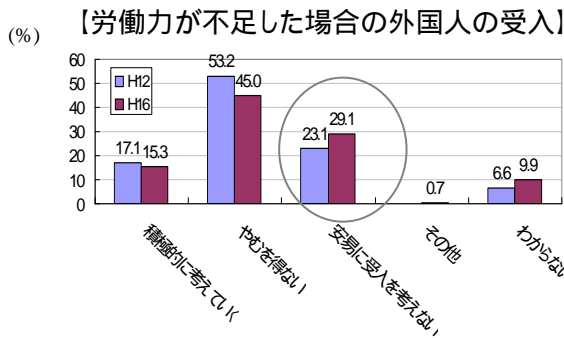
看護師は3年の滞在期間内に国家試験に合格しなければならず、不合格なら帰国となり、日本で培った技能が生かされなくなることが課題に。

【経済連携協定(EPA)に基づく看護師・介護福祉士候補者の受入れについて】

経済連携協定に基づき、平成20年度よりインドネシア、平成21年度よりフィリピンの2カ国から看護師・介護福祉士候補者を受け入れている。
 県内研修受入状況(H21.11)：
 看護師候補者9施設36名、介護福祉士候補者10施設31名

<外国人就業者の受入意識の変化>

- ・全国調査では労働力が不足した場合の外国人の受入について、安易に受入を考えないという意見が増加している。



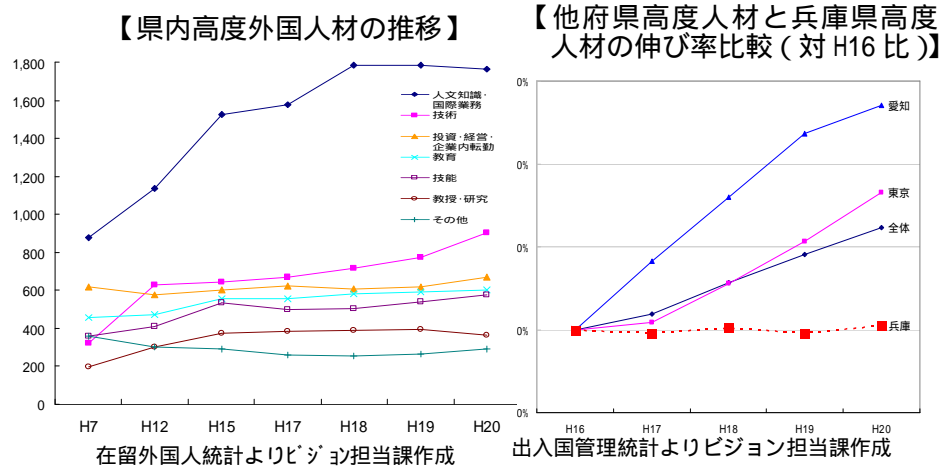
単純労働者の受入れを認めない主な理由

- ・治安が悪化する恐れがある
- ・地域でのトラブルが増える恐れがある
- ・不況時に日本人の失業が増える
- ・日本人が就きたがらない仕事に単に外国人を活用すればいいという考えはよくない

内閣府「外国人労働者の受入に関する世論調査（H16）」よりビジョン担当課作成

<知的人材の兵庫県への集積は低調>

- ・兵庫県への高度人材の集積は近年横ばい状態が続く。他府県と比較しても伸びが弱く、「選ばれる地域」に向けた地域の魅力を創出していくことが必要に。



県内の高度外国人材は、いざなぎ景気を支えた機械等の輸出産業の増加に対応するため、これらの産業に従事する技術者が増加したものの、他の分野においては横ばい状態が続いている。特に、中国等をはじめとする世界的な研究者の獲得競争が進む中で、研究者等は減少傾向にあり、地域の魅力を発揮し、多様な人材を呼び込みに向けたさらなる取組が必要となっている。

<世界で展開される人材獲得競争と兵庫独自の取組>

- ・先進国においては、経済活力を高めるという観点から、優秀な技能を持つ外国人受入施策を展開。日本の取組の遅れが指摘される中で、兵庫県では特区の導入等により、より働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

【諸外国における優秀な外国人材受入優遇策の比較】

国名	受け入れ内容（高度人材の優遇措置状況）
中国	世界トップ100の大学・研究機関から、1,000人以上の科学者を招き、国内の優秀な研究者との合同研究チームを約100カ所形成する“111計画”を推進。
韓国	3種の特別優遇カードを設け、滞在期間の拡大や勤務先の一部自由化、査証発給の時間短縮やマルチ入国ビザ発給を優遇。
シンガポール	所得制限を設け、一定の学歴・資格を有し、専門的・技術的分野の労働者を数量制限なく受け入れ。
アメリカ	労働者の能力などにより、5つのカテゴリーを設け、医学・経営学・衛生等に関する専門的・技術的分野の労働者を積極的に受け入れ。永住許可も比較的容易に。
カナダ	語学力・職業教育等をポイント化し、一定の基準を満たす者を積極的に受け入れ。
イギリス	学歴、職歴、過去の収入等をポイント化し、受け入れ。5年在住後に永住許可も。
フランス	研究職や高所得企業経営者・管理者等を中心に、ビザ発給や滞在期間の延長等を優遇。
ドイツ	学者、教授、科学者、一定所得以上の専門家などを、無制限の滞在資格を与えて受け入れ。
日本	「産業及び国民生活等に与える影響」を総合的に勘案して個々の在留資格ごとに決定。 就業ビザは全10種類（投資・経営、法律・会計、医療、研究、教育、技術、人文知識・国際業務、企業内転勤、興行、技能）。概ね在留期間等は6ヶ月～3年）
兵庫の構造改革特区による取組	外国人研究者等の在留期間延長（在留期間の上限を3年から5年に延長） 在留資格要件（「研究」資格：修士又は3年以上の研究従事若しくは10年以上の実務経験、「投資・経営」資格：外国人の会社設立制限）の緩和 外国人の在留資格で可能な活動範囲の拡大（「研究」資格での「投資・経営」活動の活性化等） 構造改革特区に係る外国人からの入国、在留申請の優先処理

労働政策研修・研究機構編「アジアにおける外国人労働者受け入れ制度と実態」(2007)、「諸外国の外国人労働者受け入れ制度と実態」(2008)、「アメリカの外国人労働者受け入れ制度と実態」(2009)よりビジョン担当課作成。なお、兵庫の構造改革特区による取組は、先端医療産業特区、先端医療産業特区（いずれも神戸市）、先端光技術特区（上郡町）において実施

< 特定人材の集積を目的とする移住促進サポートに取り組む例も >

- ・ 特定分野の人材獲得を目的として、スコットランドでは移住者向けのデータベースの他、就職活動の支援や生活相談支援等、移住を促進する独自のサポート対策を充実させている。 【スコットランドの『タレント・スコットランド』プログラム】

電子技術、生命科学、金融、エネルギー等を「優先産業」と定め、これらの分野の外国人材の移住促進を図る

将来スコットランドの移住、就労希望人材をデータベースに登録

登録人材に対して、職歴やスキルに合った国内企業の求人紹介を行う。

多様な情報提供サービス

- ・ 移住を検討する外国人向けの専用窓口設置
- ・ 専用ホームページにおける、移住に際して必要な生活に関する情報提供 (ex. 宅地の購入方法、ペットの持ち込み方法)
- ・ 実際に移住したアメリカ人やインド人等の人材の生活の様子紹介

<すすむ日本語が学びやすい環境づくり>

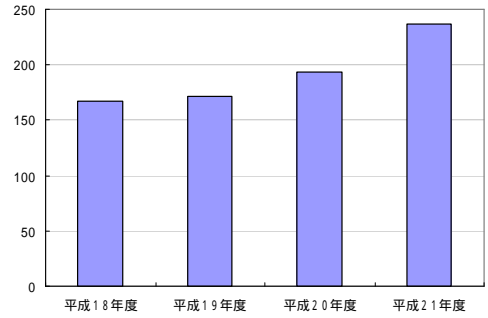
- ・学校教育における日本語指導や、日本語を教える NPO 等の草の根の活動により、地域で日本語が学べる環境が整いつつある。



子ども交流会

= NPO による日本語教室 =
NPO 法人神戸定住外国人支援センターでは、地域に住む外国人県民の子どものための日本語教室を開催。

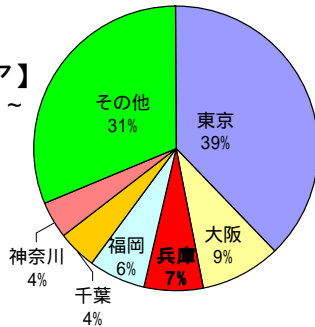
【公立小学校で日本語のサポートを行う指導員数推移】



兵庫県教育委員会資料よりビジョン担当課作成

- ・また、県内では、外国人を対象にした日本語学校等の日本語を教える機関の蓄積がある。今後、これらの学校とも連携しつつ、外国人県民の地域への参画を支援していくことが重要に。

【日本語教育機関の全国シェア】
～兵庫県は第3位～



【県内日本語教育機関一覧】

学校名		
神戸	神戸住吉国際日本語学校	神戸YMCA学院専門学校日本語学科
	秀明神戸国際学院	専門学校テクニカルカレッジ神戸日本語学科
	神戸ワールド学院	神戸電子専門学校日本語学科
	セイコー学院外語センター	神戸YWCA学院専門学校
	アリスト外語学院	コミュニケーション学院
	国際語学学院	春日日本語学院
	予備校創学ゼミナール外国人特別進学コース	クラーク国際専門学校 日本語進学予備課程
	セイコー学院	神戸YMCA学院専門学校日本語学科
	クラーク外語学院	神戸東洋日本語学院
	阪神南	尼崎国際日本語学校
大阪教育学院(尼崎市)		創志日本語学院大阪校(芦屋市)
神戸東国際学院(尼崎市)		
中播磨	姫路YMCA日本語学校	

専門家の意見

- 留学生の 40%程度は、直接母国から留学して来るのではなく、一旦日本の日本語学校に入学し、そこで1年半程度学んだ後で大学に入学して来る。日本語学校は大学と違い、ほとんど差別化できる要素がない。したがって、留学生が日本語学校を選ぶ理由は、都会である、知り合いがいるということが主な理由。そういった事情で、みな留学生は東京に行きたがる。(ひょうご大学連携推進協議会)

(財)日本語教育振興協会「日本語教育機関要覧」よりビジョン担当課作成

<母語教育の展開は多様化>

- ・外国人県民の子どもが、自分の母国の言葉や民族のアイデンティティの喪失を防ぐことを目的とした母語教育が様々な形で展開。広く NGO 等を通じて地域と一体となった取組を活発化させてゆくことが課題となっている。

= 一歩進んだ母語教育 = 【兵庫県内で母語ボランティアを行う人数】

NPO 法人ワールドキッズコミュニティでは、外国出身の子どものため、母語の学習サポートをはじめ、ラジオやビデオによる表現活動の支援を行っている。



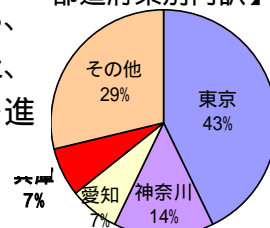
ブラジル人県民母語教室

言語	人数
ウルドゥ語	1
ネパール語	1
トルコ語	1
ヒンディ語	2
フィンランド語	1
フランス語	1
インドネシア語	2
英語	3
ベトナム語	4
韓国・朝鮮語	6
スペイン語	8
タガログ語・英語	8
ポルトガル語	8
中国語・台湾語	15

<外国人学校数は全国4位>

- ・ インターナショナルスクールの設置数は全国4位。全国の中でも、多様な国籍・民族の学習者が学べる環境が整備されている。今後、これらの学校が地域と連携し、社会との融和に向けた取り組みを進めていくことが課題に。

【全国インターナショナルスクールの都道府県別内訳】



文部科学省 HP より
ビジョン担当課作成

県民の声から・・・

- 「従業員の多くは、子どもをインターナショナルスクールに入学させるようだ。日本語の取得よりも、確実に知識の取得をめざしている模様である。(シスメックス株式会社)

= 兵庫県外国人学校協議会による開かれた外国人学校に向けた取組 =

震災を契機に、県下の外国人学校が結束して、1995年7月26日、「兵庫県外国人学校協議会」が発足。「兵庫県下の外国人学校間および日本人学校との交流を深め、地域の国際化に貢献すること」、「世界に開かれたまちづくりに協力すること」を活動目的に掲げ、地域社会との融和、調和の拡充に向けた取組を進めている。

<居住空間として高い評価を持つ神戸>

- ・ 兵庫の持つ自然豊かな環境やおしゃれな都市的空間が外国人県民より評価されている。

県民の声から・・・

- 神戸は良いまちだ。まちがきれい(clean)だ。また山や海が近く、美しい。私が初めて来た当時から外国人が多く、コスモポリタンな雰囲気を持ち続けている。(神戸レガッタ&アスレチック・クラブ)
- 神戸は「伝統的」というより「新しいものをとってくる」地域。たとえ外人はいなくても「外人的」な雰囲気を持ち続ける。そこを上手くPRしていくことが重要。(有エフ・ビー)
- 「生活の質」という点では横浜や首都圏よりも神戸のほうが優れている。大きなオープンスペース、土地もあり、人がより「ナイス」だ。特に子どもを育てるには神戸のほうが非常に快適な環境だ。(IKEA ポートアイランド店)

<居住地の分離は地域の荒廃を招くケースも>

- ・ ヨーロッパでは、移民等の外国人と自国民の居住場所を分けた結果地域の荒廃に繋がった事例もある。共に暮らしていく住まい方が実現する地域づくりが重要に。

県民の声から・・・

- これから新たに入ってくる外国人などが融合していけるようなまちづくりが必要(有エフ・ビー(在日外国人用の日用品のネット販売))
- お互いに理解が不足していることが、差別やトラブルを生むと思うので、もっと交流の場を増えることを望む(H20 丹波地域夢会議)

事例：ドイツ東部では、過去に移民を郊外に住ませた結果、生活水準が満たされない外国人が暴動を起こし、まちが荒廃。現在では、その教訓を活かし、郊外の空き家を撤去し、移民たちがまちなかで自国民と共に暮らしていけるような環境づくりに取り組んでいる。

<日常生活においていかに共生のしくみを築いてゆくかが重要>

- ・ 外国人住民の増加が著しい国内他地域においては、日常生活に様々な影響が出て

いる。地域住民の相互理解により、ともに支え合う地域づくりが必要不可欠に。

【もし、日本で最も外国人の多い群馬県大泉町（16%）程度に、外国人県民が兵庫に暮らしている場合・・・】

	現在の兵庫の状況		大泉町同様、外国人居住者の割合が16%となった場合	現状から予想される光（ ）と影（ ）
	全県民の状況	うち外国人居住者の状況		
生まれる	出生数 48,833人 （1日あたり134人）	出生者数 878人 （1日あたり2人）	外国人新生児数 8,106人 （1日あたり22人）	家族を大切にす文化から多産を望む人々が増加し、少子化傾向に一定の歯止め細かな文化等に対応できる病院が少ない場合、安心して産める環境にない。日本語が話せない場合、妊娠・出産時の不安が増大。
学ぶ	小学校児童数 327,124人 学級数 12,552 <1学級あたり26.1人在籍>	小学校児童数2,023人 (0.6%) <1学級あたり0.1人在籍>	小学生 59,209人 <1学級あたり5人が在籍>	早い段階で異なる文化に触れ、子ども自身の世界観が広がったり、異なる言語や様々な国際事情をより身近に感じることにより、国際的な視野を培うことができる。日本語が話せない、習慣が異なる等の理由により、いじめが多発。学校に行き場を失った子供たちは、地域で非行に走るケースも。
	中学校生徒数 159,650人 学級数 4,998 <1学級あたり31.9人在籍>	中学校生徒数 1,318人 (0.8%) <1学級あたり0.2人在籍>	中学生 28,896人 <1学級あたり5人が在籍>	
	高等学校生徒数 121,699人 学級数 2,868 <1学級あたり42.4人在籍>	高等学校生徒数 1,016人 (0.8%) <1学級あたり0.3人在籍>	高校生 22,027人 <1学級あたり8人が在籍>	
働く	労働力人口 2,732,392人	労働力人口 44,231人 (1.6%)	453,577人	新たな価値観や考え方が加わることによって、解決手法等に多様性が生まれ、新たなビジネス手法や、技術等が開発される。 異なる価値観等により、日本人が回避する仕事にも積極的に従事する労働者が増加し、労働市場における需給ミスマッチが解消される。 雇用形態が派遣労働等、身分が不安定な場合、安心して就労できない。 労働慣習等の違いにより、能力のある外国人が適正に評価されず、資源が浪費されてしまう可能性がある。
結ばれる	婚姻件数 30,486組 （1日あたり84組）	婚姻件数 549組 （1日あたり1.5組）	5,061組 （1日あたり14組）	地域に異なる文化や新たな価値観が加わることになり、古い慣習や考え方に捕らわれない新たな取組が促進されたり、まちづくりの手法が生み出される等、地域全体に新風が吹く可能性がある。 結婚する際に配偶者以外の知人が少ない場合には、文化や習慣になじまず、言葉がわからないために孤立してしまう人々が増える。 離婚する際に子どもがいる場合、養育等の問題が複雑化。年金等の制度不備も。
	離婚件数 10,658組 （1日あたり29組）	離婚件数 192組 （1日あたり0.5組）	1,754組 （1日あたり5組）	
暮らす	総人口 5,598,179人	外国人居住者数 101,773人	県内外国人居住者数 929,297人	イベントや日常の共同作業等を通じて、外国人県民と住民が混じり合って暮らすことにより連帯感が生じ、ともに地域づくりに取り組む。 同胞が集まり、地域と交わらず、集団で孤立してしまう居住形態が頻発。
老いる	65歳以上人口 1,108,564人	65歳以上人口 11,003人 (1.0%)	184,021人	地域に元気な高齢者が増え、高齢者同士の活動の幅が広がる 年金制度が外国人にとって未整備な部分が多いため、受給することができずに収入が不安定な高齢者が増える。
	死亡者数 47,877人 （1人あたり131人）	死亡者数 861人 （1日あたり2人）	7,947人 （1日あたり21人）	

（出典）「生まれる」および「結ばれる、別れる」は平成20年人口動態調査、「学ぶ」は平成20年学校基本調査、「働く」は平成17年国勢調査、「暮らす」は国際交流課平成20年12月31日現在調査および大泉町平成20年人口動態調査、「老いる」は平成17年国勢調査および兵庫県住民基本台帳調査による

< 日常生活を支える相談機関 >

- ・ 県内外国人県民の日常生活に困った場合の相談機関が自治体や NGO の支えにより運営されている。

相談窓口同士の連携した取組が必要
県内には上記の表のような相談窓口があり、幅広い言語の対応が可能となっているが、ひとつの機関では解決しきれない課題も多数ある。このため、おのおの相談機関では、窓口の相談員のための勉強会等も定期的に開催する等、多様な課題の解決に向けた取組をすすめている。

【県内外国人県民向け相談窓口一覧】

自治体の相談窓口	NGOの相談窓口
兵庫県国際交流協会外国人県民インフォメーションセンター	AMDA国際医療情報センター関西
子ども多文化共生センター	多文化共生センターひょうご
神戸国際コミュニティセンター	NGO神戸外国人救援ネット
西宮市国際交流協会	NGOベトナムinKOBE
芦屋市国際交流協会	神戸定住外国人支援センター
伊丹市同和・人権室国際平和担当	関西ブラジル人コミュニティ
宝塚市立国際・文化センター	ひょうごラティノ
川西市文化・国際交流課	アジア女性自立プロジェクト
三田市国際交流協会	篠山市国際理解センター
猪名川町国際交流協会	ひめじ発世界
播磨町国際交流協会	CHIC
姫路市市民相談センター	(Community House&Information Center)
岡市国際交流協会	

<芽生えつつある外国人県民と共同した地域づくり>

- ・外国人県民のコミュニティが地域と連携し、共催の行事などを通じて、地域住民の相互理解を促す取組がはじまっている。

= 地域と連携した取組を展開する NGO の取組 =

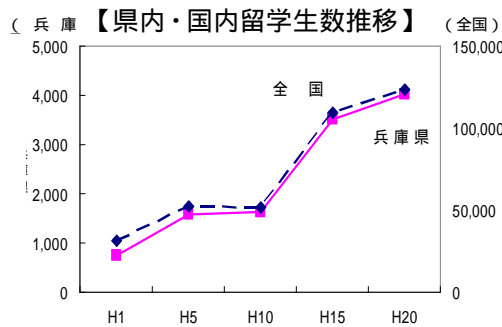
NGO ベトナム in KOBE では、ベトナムのことを日本に伝えるために、地域でのベトナムの食品、雑貨の販売や、伝統的なベトナムのイベントの開催などを地域の人々とともに取り組む。また、ベトナム語と日本語によるラジオ放送やニュースレターにより、身近な問題や情報をベトナム人と地域社会に伝える活動も行っている。



ベトナム人県民交流遠足

<県内で学ぶ海外留学生の増加>

- ・多くの大学では留学生の受け入れが積極的になり、県内留学生数は増加。

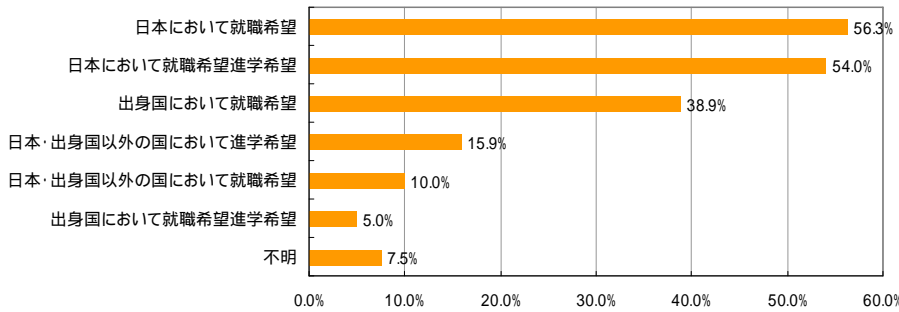


文部科学省「留学生受入の概況」および兵庫県国際交流協会公表資料よりビジョン担当課作成

<日本での「しごと」に結びつかない留学生が多い>

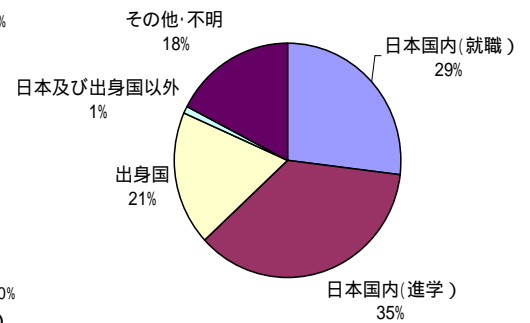
- ・卒業後、日本での就職を希望する留学生が多い一方で、実際の日本での就職に繋がっていない。今後、地域で外国人留学生のしごとの場を生み出してゆくことが課題に。多くの大学では留学生の受け入れが積極的になり、県内留学生数は増加。

【留学生の卒業後の進路希望状況（全国）】



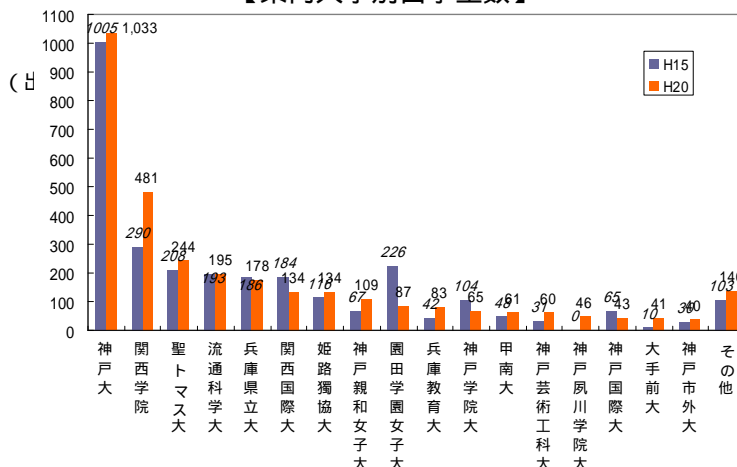
(出典：グローバル人材マネジメント研究会資料)

【留学生の卒業後の進路状況（全国）】



(出典：外国人留学生状況調査)

【県内大学別留学生数】



<構築されつつある海外ネットワーク>

- ・海外では、留学生の帰国後のネットワークを産業活動に繋げるケースも。兵庫でも将来のネットワークに繋がる活動が徐々にひろがりつつある。

= 「学生委員会」による留学生サポート活動 =
海外留学を経験した31人の学生が、帰国後、「研修中、現地の人々にお世話になった。次は自分たちが留学生を支援したい」と、様々なイベントや交流会を企画し、兵庫に暮らす留学生を側面的にサポート。帰国後の交流に繋がりたいと活動を続ける。



留学生との交流会

専門家の意見

- 「海外の企業は、大学生に奨学金を与え、海外に留学やインターンシップの機会を多く提供している。たとえ自分の会社に入社したり、関連産業に就職しなかったとしても、現地とのネットワークにより、将来的なビジネスの拡大に繋がるからである」(将来像研究会世界化チーム)

<世界遺産や震災復興の経験等、兵庫にしかないオンリーワンが注目を集める>

- ・世界遺産姫路城や震災復興の過程および兵庫のものづくりを体験等、「ひょうごにしかない」魅力が地域には存在。これらを活かしていく取組が必要。



人と防災未来館「震災体験シアター」

県民の声から・・・

- 震災復興がブランドイメージになったのではないか。復興の過程は、有形のもの、無形のもの、全て財産だから次に繋げていけるはずだ(オプト：環境技術企業)

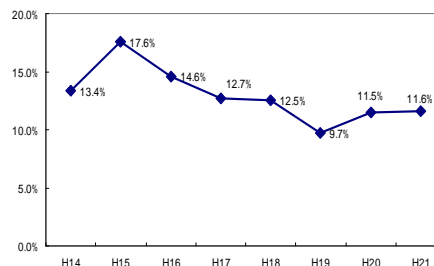
<兵庫には地域資源が豊富>

- ・兵庫の観光資源の認定数は全国第一位。一方で、地域資源の魅力に気づいておらず、観光客の増加に繋がっていないと感じる県民は多く、身近な観光資源の顕在化に向けた取組が必要に。

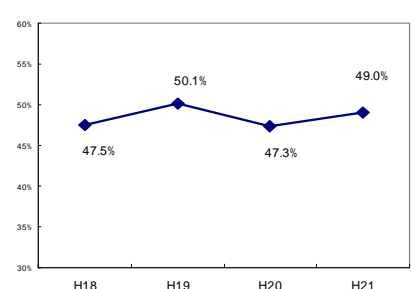
【観光資源の全国ランキング】

順位	都道府県名	合計
1	兵庫県	439
2	長野県	396
3	北海道	307
4	京都府	236
5	奈良県	233
6	大阪府	222

【「住んでいる地域に観光などの訪問客が増えていると思う」人の割合】



【「自慢したい地域の風景や名所がある」人の割合】



<地域の歴史・文化、自然環境を観光資源と捉える動きも>

- ・自然環境、名所旧跡、産業遺産、歴史・文化など身近な地域資源をネットワーク化し、観光ツーリズムの資源として活用する動きも見られる。

= 地域資源のネットワーク化～山陰海岸ジオパーク～ =

「ジオパーク」とは、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園。山陰海岸に存在する地質遺産を地域住民、行政、企業の協働により保全し、歴史文化資源と合わせ、特徴的で魅力的なジオツーリズムの構成を目指す。



玄武洞(豊岡市)

<芽生えつつあるヘルスツーリズム>

- ・神戸医療産業都市では、アジアに開かれた医療を想定し、次世代型医療サービスの実施に向けた検討が進む。さらには、神戸のまちのおしゃれなイメージと相まって、単なるメディカルツーリズムだけでなく、アジアの人々を魅了する多様なヘルスツーリズムが展開し、デスティネーションリゾート等に発展する可能性も。

= 先端医療センターにおける技術開発 =

先端医療センターでは、患者に大きな負担をかけることなく、がん治療に威力を発揮する、次世代の放射線治療装置の開発を進め、センター内の医療機器研究開発棟に設置。今後は各種試験を通じて装置の開発を進めていく予定である。



高精度放射線治療装置 線形加速器システム

<デスティネーションリゾートの可能性を持つ淡路島等>

- ・ゆとりやくつろぎを求め、訪問や滞在そのものを目的とする観光が新たに脚光を浴びている。県内でも淡路島が観光圏として指定され、自然豊かでくつろぎを与えるエリアとして注目を集めている。

= 滞在型の旅行で外国人観光客が大幅アップ =

豪州人に人気のパウダースノーで知られるニセコ地域の外国人宿泊延べ人数はここ3年、平均30%超の伸びが続く。外国の富裕層を狙い、建築家・安藤忠雄氏設計の高級リゾートが来年に着工するなど、開発は今後も続く予定だ。



外国人観光客で賑わうニセコスキー場

<ロケ地で使われる兵庫県の地域資源>

- ・自然豊かな風景や、情緒あふれるまちなみが海外のロケ等で多数使用され、ロケ地めぐりを目的とする海外からの旅行者が増加している。

= 映画の舞台で魅力アップ(城崎町) =

城崎フィルムコミッションでは、歴史や文化の風合いが強い温泉街やまちなみを利用し、NHKの連続ドラマをはじめ、数々のドラマ等の撮影地に。撮影時には、市民ボランティアもエキストラや舞台設営などでサポートを行い、ロケ地の情報や撮影時のエピソードを織り交ぜた情報発信を行っている。



城崎でのドラマ収録

事例・秋田に急増する韓国人旅行者
韓国の人気俳優イ・ビョンホさんが出演する韓流ドラマ「IRIS」が放映された昨秋以降、秋田県では韓国からの旅行者が急増している。
ロケ中、イ・ビョンホさんが利用したある居酒屋では、イ・ビョンホさんの食べたメニューを求める韓国人の若い女性たちで賑わう。直接、ロケで使用した景勝地のみならず、地元経済に大きな波及効果をもたらしている。

< 観光客誘致に繋がる特区活用制度の活用 >

- ・観光客を誘致しやすい地域の取組を促す特区制度の導入により、海外からの観光客の増加を図る事例もはじまりつつある。

= 地域ぐるみの観光振興を規制緩和で後押し =

世界有数の温泉地である別府市では、「世界の健康回復都市 O N S E N ・ツーリズム」を推進。地域住民が主体的に活動を行う場合、道路の使用、占用の許可は大きな負担となっていたが、「イベント等に伴う道路使用許可の円滑化」、「道路占有許可弾力化（オープンカフェ等）」などの特区制度を導入。祭り・イベント等の主催者の負担が軽減された。



一般道路を使用した観光イベント

1.1 フロンティア技術と産業の姿から考える

人口減少に伴い、経済活動の縮小の可能性があるが、一方で兵庫の強みである科学技術基盤の集積を生かした産業活動の展開により、アジアを中心とした世界市場での兵庫産業の活躍の可能性は高まる。先端技術やオンリーワンの技術を用いたものづくりやサービスの提供など、「生産」地域から「創造」地域への展開を通じて世界をリードする元気な産業が実現する将来像が描けるのではないだろうか。

- ・ 経済活動はアジアを中心に世界との一体化がより進んでいる
 - 国内では少子高齢化による経済成長の鈍化が懸念されるものの、世界ではアジアを中心に経済成長が続く。
 - 神戸港からの輸出入ともにアジアを中心に増加し、世界規模での取引が活発化する。
 - 成長の続く世界市場に進出する企業が増加し、生産や市場がさらに海外に拡大する。
 - 3空港などの国際的なアクセスが生かされ、中国、台湾、シンガポール、韓国等の海外クラスターとの連携がすすみ、人・技術・資金などが行き交う中で、相互に活力を高めている。
- ・ 先端科学技術分野における研究開発が、兵庫の重要な役割となり、豊かな労働資源を有するアジア諸国と“タテの連携”が展開される
 - 県内の優れた研究機関の集積がアジアの産業に貢献する技術を生み出している。
 - 特に SPring-8 や XFEL (X線自由電子レーザー) の放射光科学、次世代スーパーコンピュータのシミュレーション技術、医療産業都市における先端医療技術を用いた研究成果が広く産業活動や暮らしに実用化される。
 - 県内の科学技術機関が求心力となり、共同開発に取り組む大学や研究機関の集積が加速し、企業との共同研究もより深化する。
 - 研究開発機関や企業、大学等のネットワーク研究や事業化を支援するなどのサポーター産業も集まり、知の活用と発信が進む。
 - 兵庫の技術力・開発力が、世界の応用製品の開発に用いられる他、生産能力や労働力の秀でているアジアの国々と連携した取組が進められ、兵庫が世界のトータル・イノベーションをリードしてゆく。
- ・ 開発された新技術の実用化や事業化などを通じて、広く世界と“ヨコの連携”が展開される。
 - アジアをはじめとした海外企業との共同研究開発が進められている。
 - 開発された技術は各国の消費者ニーズに応じてアレンジされ、ひとつの技術が広範な国々で様々な形で用いられている。
実用化や事業化、生産など様々な局面で多様な国・地域が強みを持ち寄って水平的に連携し、世界的なネットワークで付加価値が高められていく。
- ・ 小さな会社が独自の魅力やネットワークを駆使し、世界を舞台に活躍している
 - 中小企業の海外取引が日常的に行われており、小さな会社のものでづくりやサービスが世界と直結している。
 - オンリーワン技術を武器に中小企業が地域経済を牽引している。
 - サービスと結びついたものづくり等、新たな価値を創造するビジネスが広がっている。

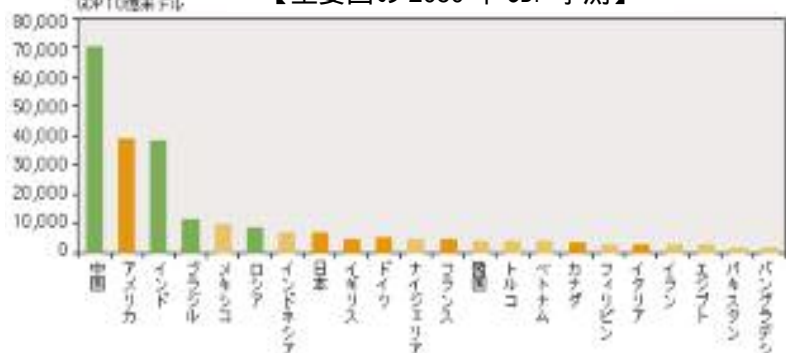
- デザインが重視されるようになり、ものづくりに付加した新たな価値が生み出されている。
- アニメやゲームをはじめとする兵庫発のポップな文化やコンテンツが世界の若者に求められている。
- ・ 世界的な需要の高まる環境分野に取り組む企業が増加し、国際的な「緑の産業クラスター」が形成される。
 - リサイクル、ゴミ処理、電池、高効率エネルギー利用といった兵庫が強みをもつ事業群を核に、環境、エネルギー関連事業が厚みを増して集積する。
 - 環境技術開発に取り組む海外クラスターと連携した取り組みが進められ、相互に活力を高めながら、グリーンエネルギー創出のパイオニアとなっている。
- ・ 「先端科学技術」のみならず、地域資源を活かした産品、安全安心の農産品が世界から高く評価され、地域が丸ごとブランド化されている。
 - 日本酒など兵庫の歴史や自然の強みを活かした産品が海外から高く評価され、兵庫ブランドとして世界の多くの人々を魅了している。
 - 有機野菜等の安全・安心の取組が世界の注目を集めるなど、県産農林水産物のニーズが世界的に高まる。
- ・ 全ての企業が環境問題に配慮した産業活動を展開している
 - 企業自らの自社の環境負荷状況についての認識が広まる。
 - 温室効果ガスの削減に向け、カーボンオフセットやカーボンフットプリントの表示等に取り組む企業が増える。
 - 環境に配慮した水資源活用の観点から、企業の水資源保全や再生に向けた取組が進む。
 - 「企業の社会的責任」としてリサイクル等の環境への取組が日常的に展開されている。

シナリオの背景

<成長を続けるアジア経済>

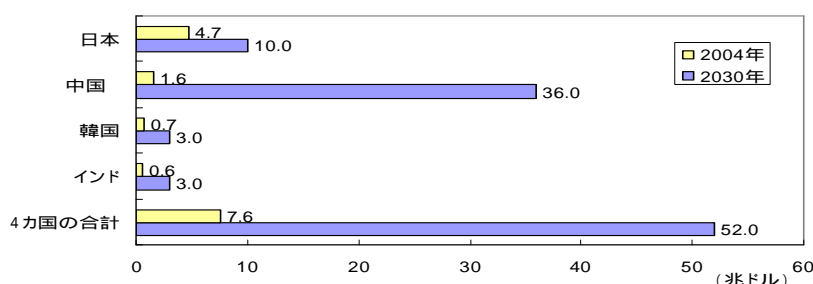
- ・ 国内では少子高齢化の進展等による市場の縮小化に伴い、経済成長の鈍化が懸念されるものの、世界規模でみた場合、アジアを中心に引き続き経済成長路線が続くことが予想され、アジア内需の視点が不可欠に。

【主要国の2050年GDP予測】



(出典) ゴールドマン・サックス グローバル経済調査部 (2007年)

【アジア諸国の2004年GDPと2030年GDP将来推計の比較】



日本は将来的にはGDPの大きな拡大は見込めないものの、アジア主要国では日本を上回るペースで規模の拡大が予測されている。

(出典) 内閣府「21世紀ビジョン」よりビジョン担当課作成

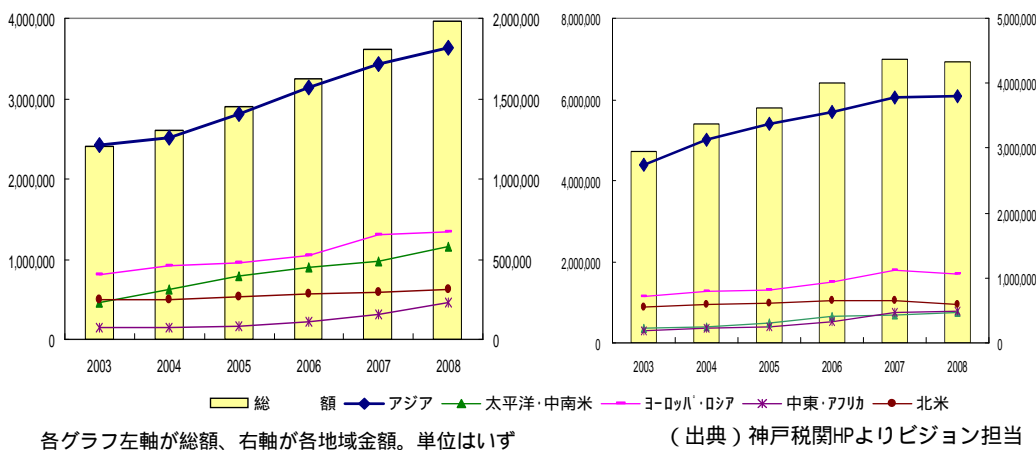
県民の声から・・・

- 環境技術の中心は静脈産業。人口が減少すれば排出されるものも少なくなるので、静脈産業も縮んでいく。今は成長するがいずれは飽和する。一方でアジア各国はまだまだ人口が増える。だから長い目で見るとマーケットを海外に求める必要がある。(浜田化学)

<増加する海外貿易>

【神戸港貿易額の推移：左＝輸入、右＝輸出】

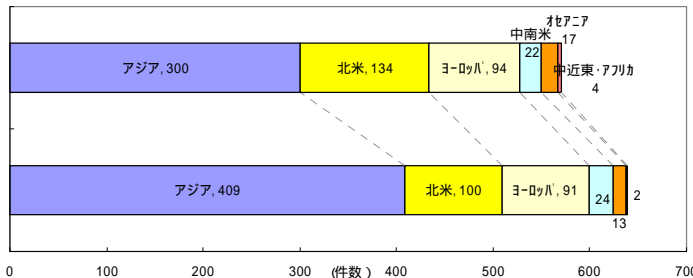
・アジアを中心に海外輸出入が増加。今後さらに拡大が見込まれ、アジア諸国との経済の一体化が進展すると考えられる。



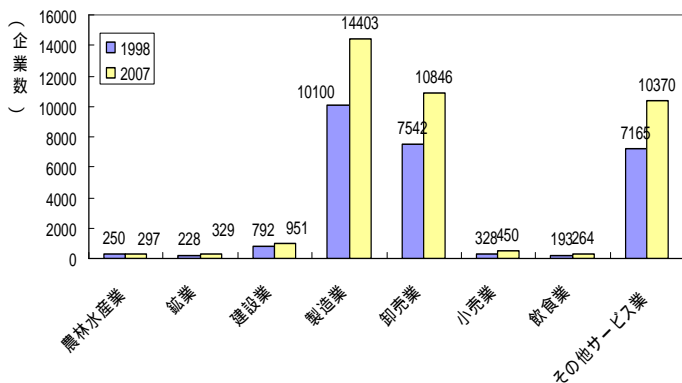
<増え続ける企業の海外進出>

・製造業を中心に、企業の海外進出は増加し続けている。今後海外で活躍する県民が増加することも予想される一方、国内の就業者確保が難しくなる可能性もある。

【県内企業の海外進出地域内訳の推移】



【産業別海外進出企業数(全国)】



産業別では、製造業の海外進出が最も進んでいるが、直近10年間の伸びでは、全ての業種において同程度の割合で海外進出が進んでいる。その中でも特に、アジアへの進出比率が高まっている。

(出典) 東洋経済「外資系企業総覧」よりビジョン担当作成

<海外の窓口として空港等の活用が必要>

- ・神戸港、3空港をはじめ、兵庫には海外の窓口となりえる機能が立地。今後、これらを海外に開かれた窓口として、どのように活用していくかが課題。

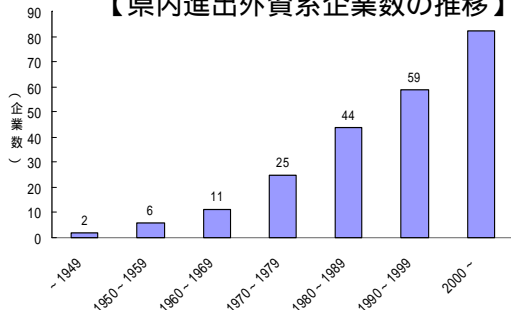
県民の声から・・・

- 神戸といえば港だ。船や人が入ってくるような機能を充実させることが必要。玄関口としての神戸をきちんと世界レベルにすべきだ。(エヌ・イー・ティ株)

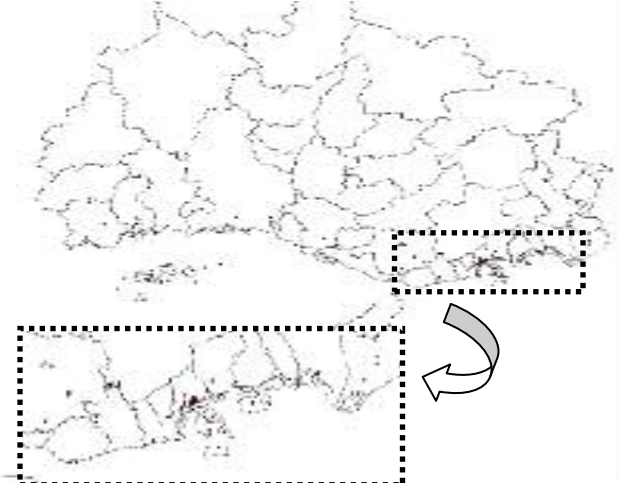
< 県内進出外資系企業の増加 >

- ・阪神間を中心に、県内に本社を置く外資系企業が増加しており、地域経済の世界化が進展している。

【県内進出外資系企業数の推移】



【阪神間を中心に、県内に
本社を置く外資系企業数は増加】



(出典) 東洋経済「外資系企業総覧」よりビジョン担当課作成

< 研究開発機関が増加 >

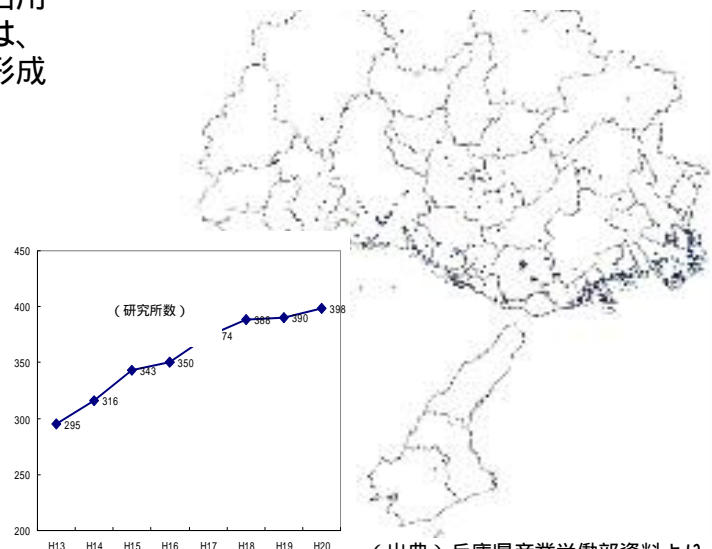
- ・研究開発機関は瀬戸内海沿岸を中心に増加。今後、これらの拠点を活用した産業の活性化を図るためには、関連産業の集積やクラスターの形成に向けた取組が必要となる。

< 聞き取り調査より >

研究開発については、研究資金だけでなく、TLO (Technology Licensing Organization 技術移転機関) などコーディネートする機関が充実していると感じている。他の地域の同業他社とも話をする機会があるが、「兵庫県は充実している」と羨ましがられることも多い(廃食油を活用した食品リサイクル事業を行う企業)

【県内研究所設置数の推移および分布状況】

～瀬戸内側を中心に集積が進む～



(出典) 兵庫県産業労働部資料より
ビジョン担当課作成

< 世界をリードする先端科学技術の集積 >

- ・SPring-8 においては、研究成果が産業部門に実用化され、新たな技術開発に繋がっている事例もある。今後、新たな先端科学研究機関が始動するに伴い、産業利用を促進し、研究成果の実用化等を図り、多様な産業活動へと展開してゆくことが課題に。

SPring-8 (播磨科学公園都市)

平成9年に供用開始された世界最大の大型放射光施設。世界最高性能の放射光を利用できる施設として、物質科学・地球科学・生命化学・環境科学・産業利用などの分野で優れた研究成果をあげている。

次世代スーパーコンピュータ(神戸市)

高度なシミュレーションに必要な高い性能と、産業界を含めた幅広い分野で活用できる汎用性を持つ世界最先端・最高性能の超高速計算機システム。平成23年度供用開始予定。



SPring-8



次世代スーパーコンピュータ
完成予想図

XFEL（播磨科学公園都市）

物質を原子レベルの大きさで、かつ瞬時の動きを観察することができる画期的な光源。X-FEL 計画は、我が国の科学技術を牽引する世界最高性能の研究・技術開発として、『国家基幹技術』に認定。2011 年供用開始予定。



XFEL 加速器棟

神戸医療産業都市構想（神戸市）

先端医療技術の研究開発拠点を整備し、医療関連産業の集積を図る。中核施設群の他、160 以上の医療関連企業が進出し、ライフサイエンス分野のクラスターとして整備が進められている。



神戸医療産業都市

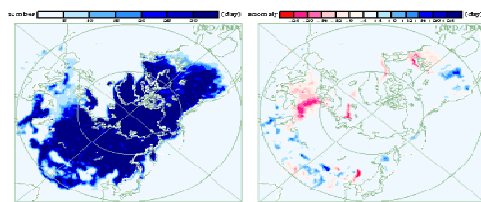
= SPring-8 の研究成果が生み出す新たな素材のタイヤ =



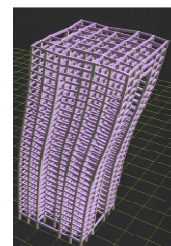
（解説）

スタッドレスタイヤの氷上での動きを観察し、グリップ性向上の仕組みを確認した結果、新型タイヤの開発に成功し、より安全・安心な素材のタイヤが誕生。

= 次世代スーパーコンピュータの産業活用事例 =



北半球の降雪状況を予測し、天気予報へ活用



地震による建物の揺れをシミュレーションし、建物の耐震構造を算出

< 県内の科学技術基盤は、多くの研究者にとって魅力 >

- ・ SPring-8 や次世代スーパーコンピュータ等の科学技術基盤は海外の研究者の魅力となっている。

県民の声から・・・

- SPring-8 は放射光施設としては世界一だ。SPring-8 の 8Gev に対して台湾にある放射光施設は 1.5Gev に過ぎない。SPring-8 を使えることは技術者にとっては大きな魅力だ（陳政棋氏：台湾出身）
- 来日のきっかけは「SPring-8」が使えることが魅力的だったから。SPring-8 は世界最高性能の放射光施設であり、インドでもその存在は有名。これを自分の研究に使うことができるということは非常に魅力的だった。また、ここに来ている研究者は非常に優れた人が多く、満足している。（J.Jeyakanthan：インド出身）

< 各企業や大学、研究機関をサポートする組織が重要に >

- ・ 海外では、クラスターの形成にあたり、企業や研究機関のコーディネートをはじめ、さまざまな支援機能の充実により、成功した事例もある。

事例：スコットランドにおけるクラスター形成支援

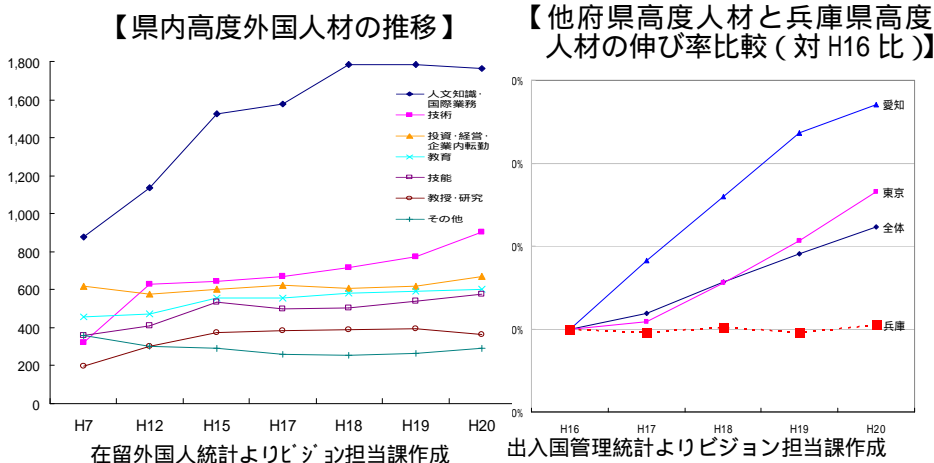
スコットランドでは、基幹産業であった炭坑、造船等の重厚長大産業の衰退を経て、次世代基幹産業として、バイオに注目。クラスターの形成にあたっては、資金援助のほか、起業支援としてインキュベーション設備や応用研究センターの設置、起業後の市場調査への協力、ビジネスアドバイザーの派遣、国際的なネットワークプログラムの構築を行っている。

県民の声から・・・

- NIRO（新産業創造機構）のコーディネートで、神戸大学海事科学部から技術的な指導を受け、試作品の完成まで至った。（株エコ・ウィン）

< 研究機関を生かす研究者等の人材集積が課題 >

- ・近年、兵庫県からは研究者等の人材の蓄積が進んでおらず、企業の間では流出を指摘する声もある。今後、研究機関の集積を生かしていくためにも、人材の集積もすすめていくことが課題に。



県内の高度外国人材は、いざなぎ景気を支えた機械等の輸出産業の増加に対応するため、これらの産業に従事する技術者が増加したものの、他の分野においては横ばい状態が続いている。特に、中国等をはじめとする世界的な研究者の獲得競争が進む中で、研究者等は減少傾向にあり、地域の魅力を発揮し、多様な人材を呼び込みに向けたさらなる取組が必要となっている。

県民の声から・・・

- アジアでは、中国、韓国が欧州並みの環境対策を進めようとしており、日本から技術者を引っ張っている。業界での話を聞くと、とりわけ中国企業への人材が流出しているようだ。（フジプレミアム株）
- 当社は研究開発のノウハウで殆どが成り立っている会社。海外にも中国、台湾、ベルギーに事業所があるが、研究所は尼崎で、全社員の 1/3 が研究員だ。彼らが会社の宝であり、彼らに気持ちよく仕事をしてもらうことが重要だと考えている。」（メック（株））

< 世界では人口増加が続き、豊富な労働資本が継続する >

- ・兵庫県では人口減少に伴い労働力も減少するが、世界では人口増加が続き、労働力も増加する。【世界と主要国の将来人口推計】



専門家の意見

- 「今後企業は中国やインドなど労働コストの安いところへ移っていくことが予想される。日本は価格競争力が弱く、高付加価値志向にならざるを得ない。（甲南大学西村順二教授）

< 県内企業でもアジア市場等への進出が進展 >

- ・今後結びつきが強くなるアジアを中心に、世界の市場を対象に事業展開する企業が出てきている。

県民の声から・・・

- 「カンボジアでは、風力発電の導入を考えているようだ。電気を十分にいきわたらせることができれば夜間照明も十分にまかなえ、夜間の教育も可能となるからだ(株エコウィン)
- シンガポールも水資源に乏しく、マレーシアから水を買っている。このため、下水を飲料水にし、その前処理に自社技術のバイオフィンジが使えるのではないかと考えている(エヌ・イーティ(株))

< 他の国々との連携の中で新たな技術や取組が生まれるケースも >

- ・海外との取引の中で、多様なニーズに応えることを通じて、新たな技術開発展開につながっているケースも。

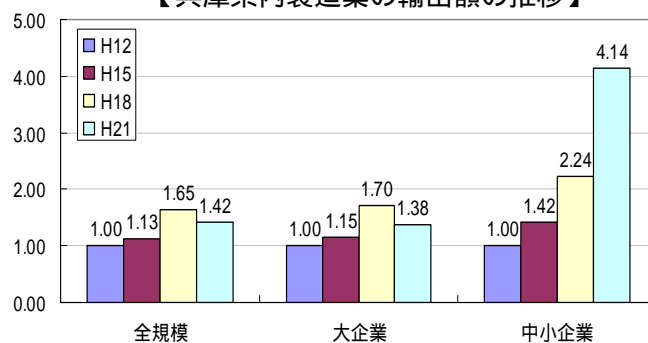
県民の声から・・・

- 「従来、光触媒技術は紫外線量の多い屋外が中心だったが、外国ではシックハウスなど室内の抗菌・消臭のニーズが高かった。現在ではこの分野の取引が始まっている。」(オプト(株)：光触媒技術を扱う企業)

< 地域を支える中小企業が世界の中で活躍 >

- ・地域経済を支える県内中小企業は近年海外展開を積極的に図り、輸出額を伸ばす等、経済のグローバル化に対応する動きを繰り返している。

【兵庫県内製造業の輸出額の推移】



日本銀行神戸支店「全国企業短期経済観測調査～兵庫県～」よりビジョン担当課作成

< オンリーワン技術を持つ中小企業が地域の経済を牽引 >

- ・独自技術を武器に活躍する中小企業が地域経済の原動力になっている。今後さらにオンリーワン技術の確立をめざす取組を促してゆくことが求められる。

= 「雷を極める」(尼崎市) =

日本で唯一の雷対策の総合メーカー「音羽電機工業株式会社」では、避雷針等の製造・販売から、雷対策の提案、受託試験、電気工事までトータルに手がける。雷実験施設「雷テクノロジーセンター」では、世界最大級の直撃雷電流試験装置が人工的に雷を生み出すことも可能。



雷テクノロジーセンター

= 米 General Electric 社も兵庫の技術に着目 =

米 General Electric 社では、「優れた中小企業と手を結びたい」とインターネットを通じて技術提案の募集をしている。「日本には数え切れないほどの優秀なものづくりの技術を持つ中小企業がある。これらの技術を自社の戦略に加えて新たなサービスを開発する糸口としたい」とし、ものづくり技術の集積する兵庫県にも着目している。

<新たな価値を生み出すものづくりの進化>

- ・単なるものづくりではなく、サービス業と融合する等、新たな価値の付加に取り組む企業もある。

【県内でオンリーワン技術やユニークな取組を展開する企業の例】

社名	事業内容	概要
株式会社カワムラサイクル	福祉用具の企画開発、製造販売	寡占市場だった車椅子業界に、ユーザーのニーズを加えた商品開発を展開。環境に優しくかつ「安全安心」を実現する強度素材「700系」のこだわりによる、一人一人の手作りによる車いす製造にこだわる。
株式会社コタニ	自動車専用部品をはじめとする熱間鍛造品等の製造および機械加工	前輪駆動車向けの車軸ベアリングを開発。国内市場を独占、フランスの自動車メーカーのシェアも6割を掌握した時期も。
太陽鋳工株式会社	モリブデン・バナジウム抽出・精製、採石業	工業素材のモリブデン、バナジウム(原子炉やエンジンのタービン等に利用)の国内トップ。産学連携により、素材の輸入に頼らず、石油精製時の廃棄物をリサイクルすることにより、安定的な供給に成功。
株式会社ティエルビイ	流体制御・計測機器の製造販売	「特許商品しか作らない」をコンセプトに、幅広い機械製造を手がける。蒸気配管等で使用されるスチームトラップの国内シェアは約60%。
兵神装備株式会社	モノポンプ及び周辺機器の設計・製造・販売	「研究開発型企業」を目指し、高精度・高効率・環境保全をテーマとした、新素材や制御システムの開発など。モノポンプの市場をリード。
有限会社播州ハム工業所	ハム・ソーセージなどの製造・販売	ネットで展開する「ハムのうんちく」がハムのストーリーと結びついて、消費者の心をくすぐる。高級贈答品のニーズとしても拡大。

= 伝統技術とデザインのコラボ (豊岡市：但馬ちりめん製造業) =
 伝統工芸の最高レベルの技と、不断の研究成果の実践や作品の発表の場を求める学生とのコラボ事業により、新たな「ちりめんゆかた」が誕生。絹のような滑らかな着心地と美しいデザインが若い女性を中心に人気を集めている。一枚のゆかたがしあがるまでの複雑な工程に注目も集まり、地域では「ちりめんゆかたの郷を訪ねる」ツアー等も検討している。



ちりめんゆかた

<デザインの重要性を指摘する声の高まり>

- ・付加価値の創造に向け、単なるものづくりでなく、デザインによって新たな商品価値を生み出す重要性を指摘する声が高まり、デザインを活かした活動が展開されつつある。



どうぶつおりがみ



替え刃脱着が簡単な鋸

=産学連携によるプロダクトデザイン=

上：神戸芸工大・大田研究室と「作業所商品開発研究会」が共同開発した「どうぶつおりがみ」。中国からの留学生の孫孟麗さんがデザインした「生肖折紙」で、干支は中国風のイメージを意識
 下：替刃の脱着が容易なようにデザインされている「替刃脱着が簡単な鋸」。河部精密工業が県立工業技術センターと共同開発

専門家の意見

- これからのプロダクトデザインは、商品開発ではなく、『ものづくりの特性を引き出すデザイン』が求められる。(県立工業技術センター)
- 今後は消費財だけでなく、機械などの『生産財』も、『機能性』や『ユニバーサル・デザイン』という観点からデザインが重要になる。(神戸芸術工科大学)

< 兵庫発のアーティスト >

< ポップな文化やソフトを生み出す基盤は充実 >

- ・コンテンツ産業等で活躍する兵庫県出身者は多い。また、地域が舞台になったコンテンツも若者の人気を集めている。

事例：西宮が舞台となったアニメでは、若者を中心にファンが独自にイベントを開くなどの効果も

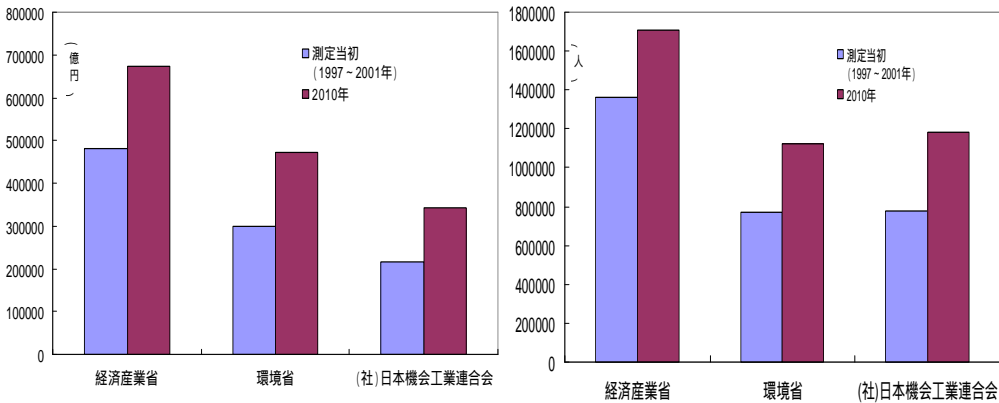


アニメ「涼宮ハルヒの憂鬱」のダンスをするファン

名前(出身)	代表作等
作家	
北野勇作(高砂市)	SF作家。甲南大学卒。2001年、『かめくん』で第22回日本SF大賞を受賞
谷川流(西宮市)	ライトノベル作家。代表作「涼宮ハルヒの憂鬱」
最相葉月(神戸市)	ノンフィクション作家。関学大卒。代表作『絶対音感』『青いバラ』など
漫画家	
西村しのぶ(神戸市)	神戸外国語大中退。代表作「サード・ガール」
寺沢大介(神戸市)	1988年「ミスター味っ子」で第12回講談社漫画賞受賞
矢沢あい(尼崎市)	少女漫画が専門。代表作「NANA」
土郎正宗(神戸市)	SFかつ独特の世界観の作品が多い。「アップルシード」「攻殻機動隊」など
映画・ゲーム	
黒沢清(神戸市)	『CURE』で世界的な名声を獲得。これまでに4回カンヌ国際映画祭に出品。
一瀬隆重(神戸市)	「帝都物語」「リング」等をプロデュース。ハリウッド注目の日本人プロデューサー
堀井雄二(洲本市)	ゲームデザイナー。代表作「ポートピア殺人事件」や「ドラゴンクエスト」シリーズ

< 伸びる環境産業 >

- ・世界的に高まる環境問題の解決に向け、環境汚染を抑制したり、リサイクル技術に取り組む等、環境技術を活かした企業の取組みが展開され、環境ビジネスが伸びる。 【伸びる環境ビジネス [全国] (左：生産額、右：就業者数)



< 解説 > 環境ビジネスは新しい分野であり、明確な範囲や基準がないため、各種団体の行う推計も全く異なった結果となっている。予測は難しいものの、今後発展を遂げる成長分野であるという認識が一般的な潮流となっている。

(経済産業省「産業構造審議会循環ビジネスWG参考資料」、環境省「報道発表資料」、(社)日本機械工業連合会「環境ビジネスに関する調査報告書」よりビジョン担当課作成)

< 兵庫には環境に取り組む優秀な企業が多数集積 >

- ・県内には、環境分野に強みを持つ企業が集積。



世界最大級のモジュール

事例：世界最大級の太陽電池モジュール(フジプレアム(株)：姫路市)



バイオオフィス

事例：合成繊維と微生物を生かし、廃水を浄化するバイオオフィス (I&A・イー・ティ(株))

県民の声から・・・

- 兵庫県の銀行は環境に適合した事業に対して利率を下げるといった「環境融資」を行う銀行が多く、環境適合型の事業はウケが良い。(浜田化学)

< 「ひょうご」の世界ブランド化 >

- ・神戸ビーフ等、すでに世界ブランド化されている製品以外にも、日本酒や洋菓子をはじめ製品をブランド化し、世界に拡大する動きもある。

= 留学生の間で人気の “ KOBE スウィーツ ” =

神戸市内の大学に通う大学生に人気のアルバイト先のひとつに、洋菓子店がある。特に女子大生に人気。ある中国からの女子大生は「母国では若い女性の間で、スウィーツへの関心が高まりつつあり、特に洋菓子は人気ショップに成長することが多い。将来の自分のビジネスのためにも、日本でも特に有名な神戸のまちで、お菓子づくりはもとより、販売、物流、ブランド戦略等も学びたい」と語る。



神戸スイーツ(フレンチ・ケーキ・パイ)

< 農林水産物の安全安心の活動が評価されつつある >

- ・ 農林水産物の輸出額は近年増加傾向が続き、県産農林水産物への海外市場からの目も集まりつつある。

= 安全安心を世界へ (南あわじ市) =

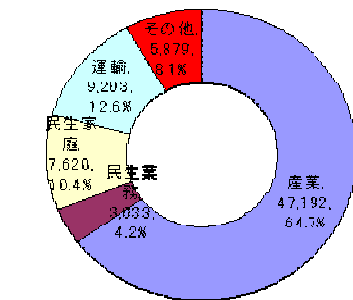
食品加工業の沖物産株式会社では、安全安心を何よりも重視し、信頼性の向上に取り組んでいる。HACCP 対応の食品加工工場を新設し、水産加工施設において兵庫県で第 1 号となる食品衛生管理プログラムの認定商品を製造。近年、これらのオリジナル淡路産品をタイ・台湾・シンガポールへ輸出。安心・安全な商品ということに加え、健康ブームが沸き起こりつつあるこれらの国々で人気が出てきている。



特産加工品を海外へ輸出 (沖物産(株))

< 温暖化ガス排出量の大部分を占める産業部門排出量 >

- ・ 温暖化ガス排出量は【兵庫県内の温暖化ガス排出量】 = カボンフットプリントを表示する企業の取組 = 製品の製造・流通過程における温室効果ガス排出量を「見える化」するカーボンフットプリントマークを貼付する取組がはじまっている。第 1 号認定の日本ハムでは、環境経営の推進、企業ブランドイメージ向上にもつながるとして、積極的に取組を進めている。



(出典)兵庫県農政環境部



< 水資源に対する取組をはじめ企業の事例も >

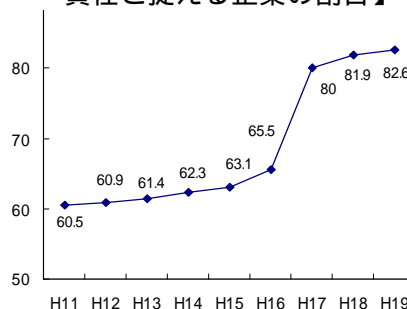
- ・ 水の発生源である上流の自然保全等を通じて、水の産業利用に際して生じる環境問題を改善していこうと取り組む動きも見られる。

事例：キリンビール神戸工場では、水源の森づくりとして、工場の水源地・三田市観福の森での植樹や森林保全活動を、社員のほか、その家族や地域住民、NPO 等と協力して行っている。

< 進む環境 CSR の意識 >

- ・ 環境への取組が企業の社会的責任や貢献と考える企業が増加。自らの事業活動に組み込んだ取組等もはじまりつつある。

【環境への取組を企業の社会的責任と捉える企業の割合】



食品廃棄物ストックボックス

事例：食品廃棄物の飼料化に取り組む企業 (エコフイード事業組合：加西市)

環境省「環境にやさしい企業行動調査結果」よりビジョン担当課作成

12 人材立県兵庫が内外の課題解決に貢献する姿から考える

競争と連携が基本となる世界化の時代では、人づくりこそがグローバルな視点での地域発展の鍵となる。県民すべてがかかわる兵庫らしい人づくりが展開される中で、蓄積された知恵と経験を生かし、地域の課題のみならず世界の課題の解決に取り組み、誇りを持った兵庫として未来を切り拓く可能性を探ってみる。

- ・ 豊かな心や創造性を育む学校教育が家庭・地域と連携して展開され、地域はもとより世界に貢献する人材が育っている。
 - ふるさとを愛し互いに支えあい協力しながら未来を切り拓いていく、明日の兵庫を築く人材が、学校、家庭、地域、団体、NPO、企業などさまざまな主体との連携の中で育っている。
 - 歴史と伝統等で地域に根づいた学校や建学の精神に基づく独自の教育理念で特色ある教育に取り組む学校など、兵庫の小、中、高校、専修学校、各種学校、大学において多彩な教育が展開されている。
 - 一人ひとりの子どもに応じたきめ細かな学習や知の好奇心を満たす充実した教育活動など、確かな学力と生きる力を育む教育が展開されている。
 - 自然、環境、地域、しごと、防災など、さまざまな場面で体験を重ねる兵庫型の体験学習や、兵庫ならではの生きる力を育む心の教育が展開されている。
 - 学校が地域の核になり、地域ぐるみで、さまざまな世代が関わって、子どもたちを育て、地域を学ぶ教育が展開されている。
 - 充実した学びや地域との関わりの中で、価値観を共有しないコミュニケーション能力や問題を発見し考える力など、国際社会で必要な素養とアイデンティティを持つ兵庫人が育っている。
- ・ 活躍の場を世界に求め、多くの兵庫人材が世界に向けて羽ばたいている
 - 県内企業の海外進出等による活躍の場の世界的なひろがりに伴い、海外での長期滞在者が増え、世界と兵庫をつなぐ役割を果たしている。
 - 身近な課題が世界的な課題となり、兵庫の強みとする部分での人的貢献が世界から求められるようになる
- ・ 先導的な取組を推進してきた防災分野で世界に貢献している
 - H A T 神戸に集積する防災を中心とした国際機関群の活動や情報発信により、兵庫の経験・知恵や先導的な防災の取組が世界の人々からさらに注目される。
 - 兵庫が培ってきた防災技術や、普及啓発活動が海外で活用され、現地の防災対策に役立てられている。
 - 被災した人々等を支える草の根レベルの動きがさらに活発化し、現地の防災活動に市民レベルで貢献する機会が増加する。

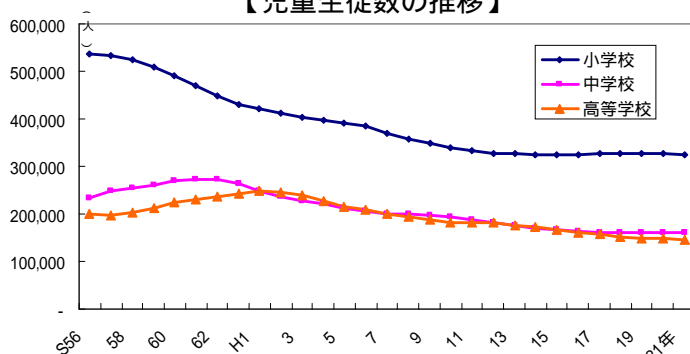
- ・ 環境分野における積極的な取組が注目を集め、世界から兵庫の技術や取組実績の普及が求められる
 - 兵庫の CO₂抑制、省エネ、環境にやさしい鉄道技術等が海外で活用され、現地の暮らしの質の向上や環境問題の改善に貢献している。
 - 環境保全など、地域に根ざした小さな活動が成長するアジアの地域の課題解決に寄与している。
 - コウノトリの自然放鳥等、地域ぐるみで取り組んできた環境運動がアジアのロールモデルとして、広く浸透している。
- ・ 県内 NPO や小さなグループが世界の現地団体との結びつきを強め、農業をはじめとする様々な分野で課題解決に取り組んでいる
 - 国際貢献に取り組む団体やグループの活動が促進され、県内のみならず、世界中のボランティアや NGO、NPO がネットワークで結ばれている。
 - 有機農業など安全・安心の技術やシステム等、人々の生活に密着した小さな取組がモデルになり、世界的な食の安全安心の実現に貢献している。
- ・ 兵庫が取り組んできた人材育成のしくみが、世界の教育力向上に役立てられる。
 - 兵庫の体験型教育システムなどが注目され、世界の教育力向上に役立てられる。
 - アジア諸国の中で、経済発展や少子高齢化、環境への取組が最も早く始まった地域として、兵庫が実践的なアジアの社会起業家養成機関の拠点となり、アジア各地に人材を送り込んでいる。

シナリオの背景

<少子化により、児童生徒数・学校数ともに減少傾向に>

- ・ 少子化の影響により、児童生徒数は減少傾向が続き、これに伴い学校数も減少。

【児童生徒数の推移】



学校基本調査よりよりビジョン担当課作成

【県内学校数（国公立）の推移】

	小学校	中学校	高等学校
平成5	867	402	227
10	861	404	230
15	857	405	232
20	832	400	221
21	824	398	218

学校基本調査よりよりビジョン担当課作成

<特色ある教育活動の展開>

- ・豊かな心や創造性を育むことを目的とし、地域との関わりのなかで、地域を支える人材を育成してゆく取組が、幅広く展開されおり、兵庫発で全国に広がりを見せている。



トライやる・ウィークでの土木工事体験

= 「県民すべてがかかわる教育」トライやる・ウィーク =
中学校2年生が地域を学びの場に、体験を通して、自ら学び、考え、体得する教育の一環として実施している体験活動。現在では、学校・家庭・地域の連携による活動の展開により、地域活性化やまちづくりの観点からも重要な取組として注目を集めている。

= 地域の人材育成を地域で支援するトライやる・ワーク =

高校1年生を中心に、時代の変化に合わせて将来にわたり積極的に地域を支える人材としての自覚と態度を養うために実施。地域社会に貢献できる取組が企画され、高校生の地域社会に対する参画意識を高めると共に、社会性や自主性など豊かな人間性を育む活動へとつながっている。



トライやる・ワークでの福祉施設体験

県民の声から・・・

- 色々なことに興味を持ちながら活動していくことが豊かさ。興味を持つ、あるいはいろいろな活動に参加するためには、学校教育が重要で、そういう興味を持つような教育により、いろいろな豊かな活動に広がっていく（阪神北地域夢会議）

<歴史と伝統を持つ学校の蓄積>

- ・県内には、歴史や伝統にあふれた学校が多数存在。特に私立学校では、戦前に設立された学校が7割を占め、うち100年以上の歴史を持つ学校も9校ある。

= 100年を超えるキリスト教教育 =

1889年、南メソジスト監督教会派遣の宣教師ウォルター・R・ランパスによって創立された関西学院大学では、スクールモットー“Mastery for Service”という言葉に集約されるキリスト教主義に基づく高邁な全人教育の理念が100年を超える歴史の中で脈々と継承されている。



関西学院大学記念礼拝堂

= 江戸時代に源を持つ学校 =

創立133周年を迎えた県立・篠山鳳鳴高校の設立は1876年。実際には、江戸時代中期の1766年、藩主青山忠高公が藩校「振徳堂」を創建、翌明和4年、教育方針「学規」が示され、篠山鳳鳴高校の教育の源流となっている。



篠山鳳鳴高校の「青山文庫」

= 創立以来積み上げられる全人教育の伝統 =

中高一貫のカリキュラムを採用している三田学園では、中学1年から各教科9名の教師（高校は10名）が学年担任団を組み、原則卒業まで持ち上がる。また、「日々の生活の中で人格は形成されていく」と、入学当初から言葉使い、挨拶、掃除など生活指導を徹底。6年間を見通したカリキュラムがより有効になるとともに、生活面も熟知したきめ細かな日々の姿勢が学習成果に結びついている。

= 進化する兵庫県立大学 =

兵庫県立大学では、平成 22 年 4 月より新たに経営専門職大学院を開設。国公立大学では初となる中小企業診断士登録養成課程の併設や、日本の経営専門職大学院では初となる医療マネジメントコースの設置等、時代の要請に応じた様々な教育機会の提供に取り組んでいる。



兵庫県立大学

< 自然学習や環境学習等多彩な体験学習が展開 >

- ・自然に対する畏敬の念をはじめ、命の大切さ、命のつながり等を実感すること等を目的とした体験型の学習が幅広く展開されている。



環境体験学習

事例：小学校 3 年生を対象に実施される環境体験学習



自然学校

事例：小学校 5 年生を対象に 4 泊 5 日以上で実施される自然学校

県民の声から・・・

- 体験する場を提供して、その実感を通じて背中を押してあげる。特に子どもたちのことを考えるとそれが一番重要（中播磨地域夢会議）

< 学校を核にした取組の展開 >

- ・小学校を核にしたスポーツクラブ 21 等、学校を核にした取組が各地で展開している。今後、さらに地域に開かれた学校づくりに向けた取組とともに、地域も学校を支える取組を進めていくことが課題に。

事例：全小学校で展開されているスポーツクラブ 21



スポーツクラブ 21

事例：中学校を拠点に展開される防災・清掃活動（西宮市浜脇中学校）



地域防災活動

県民の声から・・・

- 地域で子どもを守っていくために、小学校を核にして、先生も含めて子どもをこれからどうしていくかをしっかり議論して取り組むことが一番大事だと思う（みんなの夢会議）

< 地域と関係性を持った人づくり >

- ・地域の大人たちの経験や知恵を活かしながら、地域ぐるみで子育てを支援する動きが活発化している。

= 地域ぐるみで子育てをする「まちの寺子屋教室」 =

中高年世代をはじめ、地域の大人たちの経験や知恵を活かしながら、地域ぐるみで子育てを支援する「まちの寺子屋」の開設が県内各地で進んでいる。こま回しや、お手玉などの昔遊び、書道、茶道などの伝統文化、豆腐作りや巻きずし作りなどの食文化など、子どもたちに様々な体験活動の場を提供する中で、社会のルールや礼儀作法等を身につけるとともに、地域の伝統文化や地域のすばらしさへの気づきにつながっている事例もある。

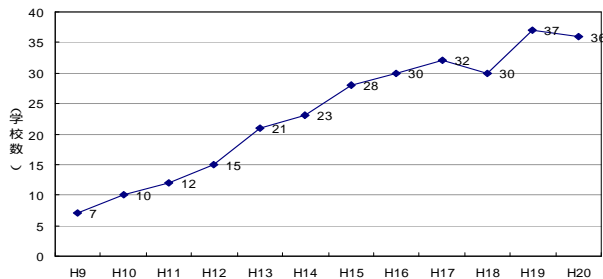


まちの寺子屋教室

<進む兵庫の外国語教育>

- ・国際的に活躍の場を広げるひょうご育ちの人材を育成していくため、県内でも多言語学習や早期からの留学等の海外交流に向けた取組が見られる。

【第2外国語（英語以外）を行う県内高校数】



【海外への羽ばたきを目的とした県立高等学校での取組】

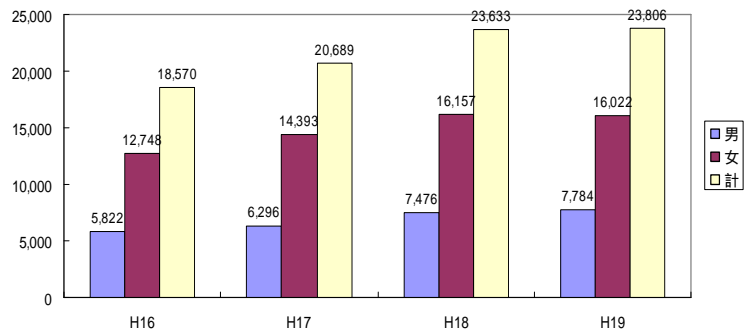
名称	内容	実施規模
高校生海外交流体験活動	姉妹州である西オーストラリア州等の高等学校などへの短期留学	県立高校 30校
中国・広東省との交流事業	姉妹省である中国広東州に研修生を派遣。帰国後の高校独自の交流の下地づくりに取り組む	県下10名

兵庫県教育委員会資料よりビジョン担当課作成

<海外で学ぶ日本人留学生数は微増にとどまる>

- ・海外留学する人数は、近年微増にとどまっている。今後、国際化の進展に伴い、外国で学ぶ機会も増加させてゆく取組もまとめられる。

【海外留学日本人学生数（全国）】



日本学生支援機構HPよりビジョン担当課作成

= 増えるアジアからの米国留学、日本からは減少 =

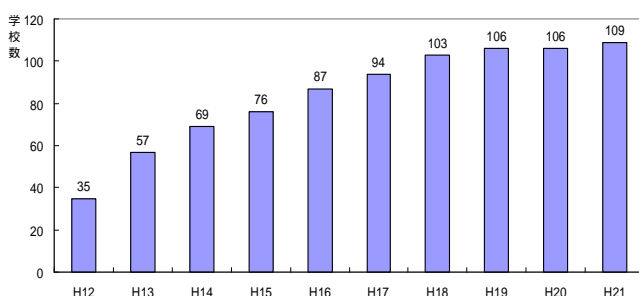
アメリカの大学へのアジアからの留学生数増加が著しい。米IIE (Institute of International Education) 発行“Opens Doors 2007”によると、2007年度の米国留学生数の伸び率トップ3は、インド(10%上昇)、中国(8%上昇)、韓国(6%)といずれもアジア勢が占める。特に、経営学系への就職を希望する学生が増加している。これに対し、日本の米国留学生数は、近年減少傾向が続いている。

<広がる学生の海外ネットワーク>

- ・海外の学校と連携した学生交流等は活発化する兆しがあり、世界に羽ばたく人材の育成に向けた取組が徐々に始まりつつある。

【HUMAPによる海外大学とのネットワーク】

～県内大学と交流協定を結ぶ海外大学の数の推移

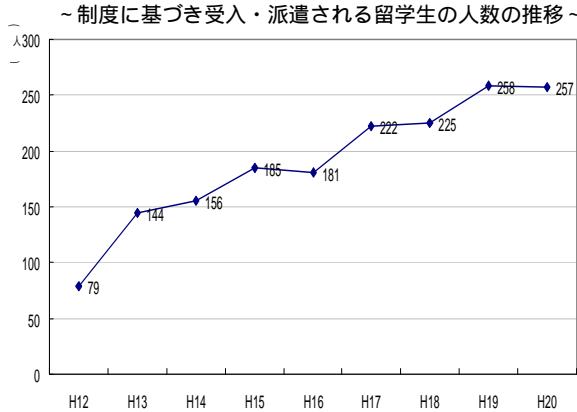


兵庫県企画県民部大学課資料よりビジョン担当課作成

<HUMAPとは>

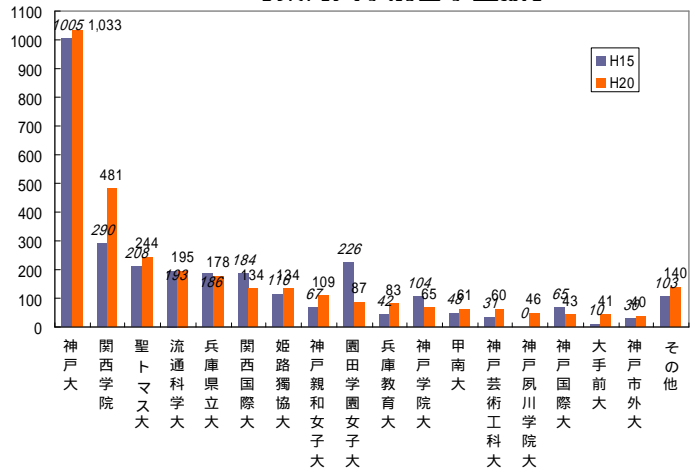
HUMAP (ヒューマップ: アジア・太平洋大学間交流ネットワーク) は、兵庫県内の大学とアジア・太平洋地域の大学との交流を盛んにし、地域の教育や研究の水準の向上を図るとともに、将来を担う人材を育成することを目的に発足。留学生に対する奨学金等の支給や留学情報提供体制の充実や、ネットワークを活用した共同研究の推進や学術セミナーの開催などの知的情報発信を推進している。

【HUMAP 留学推進制度による留学生交流数】



兵庫県企画県民部大学課資料よりビジョン担当課作成

【県内大学別留学生数】

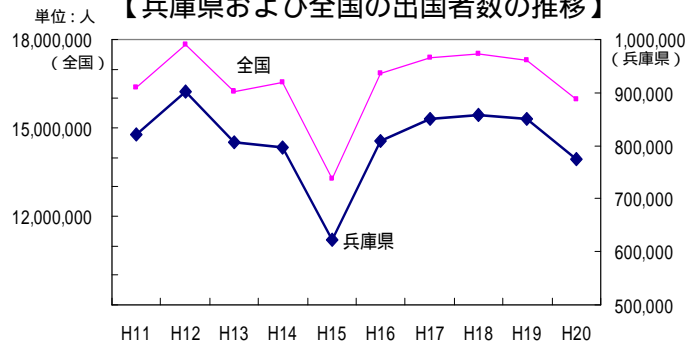


兵庫地域留学生交流推進会議資料よりビジョン担当課作成

< 出国者数は減少するも長期滞在化が進行 >

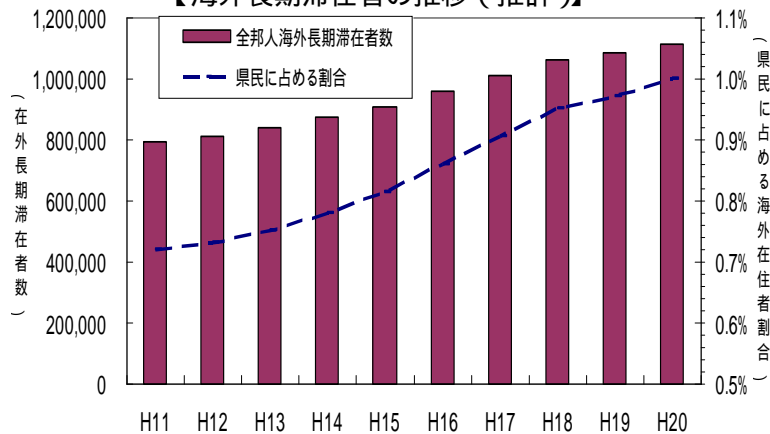
- 近年、出国者数は減少するものの、海外での長期滞在者は年々増加傾向に。海外滞在期間の長期化・永住化の進行が推察される。

【兵庫県および全国の出国者数の推移】



出入国管理統計よりビジョン担当課作成

【海外長期滞在者の推移 (推計)】



< 解説 >

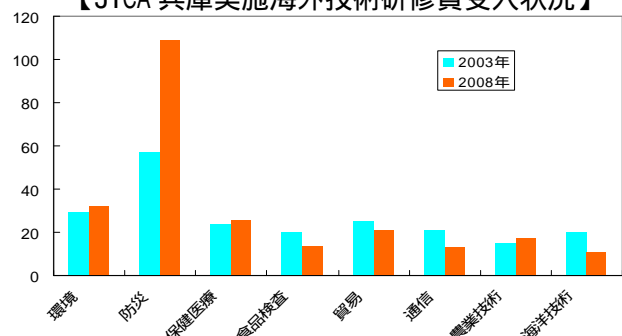
兵庫県と全国の出国者数の動きは一致しており、兵庫県は全出国者数の5%程度を占めている。これより、兵庫県の長期滞在者数を推計すると、H11→H20は39,793→55,850人と10年間で1万6千人以上の増加となっている。

また、兵庫県全人口に占める割合も、H11→H20の10年間では0.7%→1.0%と伸びており、海外に生活の本拠を移し、活躍の場を広げている者の割合も増加していることが推定される。

< 阪神大震災の復興技術に注目する国は多い >

- 開発途上国を中心に、阪神・淡路大震災からの復興技術に注目する国は多く、これらの国々の人々を対象とした防災研修がHAT 神戸に集積する研究機関を通じて行われている。

【JICA 兵庫実施海外技術研修員受入状況】



JICA ホームページよりビジョン担当課作成

県民の声から・・・

- 「震災復興がひとつのブランドイメージだったのではないが。これらは一つの財産だから次に繋げていけるはずだ(有オプト (神戸市 光触媒その他機能性コーティング施行会社))

専門家の意見

- 京都議定書の防災バージョンである「兵庫行動枠組」に則って世界の防災管理体制は動いている。したがって、防災分野においては、「HYOGO」は世界的に有名。取組にあたっては、兵庫県は不可欠な存在(ADRC(アジア防災センター))

【HAT 神戸に集積する研究機関・国際機関等】

分野	機関名	概要
防災関連	国連国際防災戦略事務局(ISDR) 駐日事務所	国連国際防災戦略事務局(本部ジュネーブ)の駐日事務所として2007年10月に開設。2005年に兵庫県で開催された国連防災世界会議の兵庫行動枠組の実施、国際防災活動の連携、防災・減災文化の構築を推進している。
	地震防災フロンティア研究センター(EDM)	医療システムの防災力向上、ITを活用した災害対応力の向上、災害軽減科学技術の国際的展開などに関する先端的で実証的な研究を進める。
	アジア防災センター(ADRC)	アジア地域レベルでの多国間防災協力を推進する中心機関として、各国関係機関の防災専門家の交流、防災情報の収集・提供、人材育成、コミュニティの防災力向上、衛生技術の防災への活用などを実施。
	財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構(Hem21) (人と防災未来センター、こころのケアセンター含む)	阪神・淡路大震災の教訓から得た21世紀の成熟社会の基本課題である安全・安心なまちづくり、共生社会の実現を図るため、命の尊厳と生きる歓びを高めるヒューマンケアの理念に基づき、総合的なシンクタンクとして調査研究を進めるとともに、諸課題について政策提言等を行う。
	国際防災復興協力機構(IRP)	災害からのよりよい復興を促進するために設立された国際的なプラットフォーム。国際機関など12の政府・国際関係機関などがコアメンバー。災害後の復興に向けて必要となる知識の集約・情報発信を行う他、復興に関する人材育成、大規模災害後の復興支援活動を実施。
	国際連合地域開発センター(UNCRD) 防災計画兵庫事務所	開発途上国の地域開発に関する計画策定や実施能力をたかめるための、研修プログラムや調査研究。
	国際連合人道問題調整事務所(OCHA) 神戸	人道援助のために政府機関や国際機関と協力しながら、世界の自然災害などに関する情報の収集・発信、国際援助活動や支援の調整などを行う。
	国際防災研修センター	HAT神戸に集積した多様な防災関係諸機関と連携を取りつつ、JICAの防災分野研修の総合調整と実施、人的ネットワークの構築、活用資源データベースの整備、調査研究など、開発途上国で防災に携わる人材をより効率的に育成。
環境関連	アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)センター	アジア太平洋地域における地球環境に関する国際共同研究を推進する政府間ネットワーク。気候、生態系における変化などに関する研究活動の支援や開発途上国の科学的能力の開発、科学と政策の連携、啓発などを実施。
	財団法人 国際エメックスセンター(EMECs)	閉鎖性海域の環境保全と適正な利用を目指す研究や情報交流のための国際組織。エメックス会議の開催や閉鎖性海域に関する調査研究、環境管理技術の研修などを実施。
	地球環境戦略研究機関(IGES) 関西研究センター	「産業と環境」をテーマとして、関西の学術研究機関や企業、団体ならびにアジア太平洋地域をはじめとする内外の研究機関と連携した調査研究、政策提言を実施。
その他	WHO神戸センター 世界保健機関健康開発総合センター	WHOの学際的研究機関。国際共同研究の開発・調整、パートナーシップを基本としたグローバルネットワークの構築。
	兵庫県国際交流協会(HIA)	すべての県民が異なる文化や生活習慣などを理解しつつ交流する、多文化共生社会を実現するため地域の国際化に向けた多彩な取組を実施。
	JICA兵庫(国際協力機構兵庫国際センター)	開発途上国からの技術研究員の受入、青年海外協力隊の募集、草の根技術協力・開発教育支援等を実施。

<世界の減災に役立てられている兵庫の防災の取組の蓄積>

- ・ 阪神・淡路大震災の教訓を活かした防災活動が、アジアをはじめとする国々の災害時の被害縮小に貢献している。

= 日頃の防災意識を高める普及活動 =

アジア防災センターでは、東南アジアで防災に取り組む NGO を対象に、防災研修を実施。実際に街を歩き、自然災害による被害を予測し、避難経路・場所を書き込んでハザードマップの作成等を行った。



防災研修

ハザードマップづくり

< 阪神淡路大震災時にはじまった取組が世界の災害復旧に貢献 >

・阪神・淡路大震災を契機にはじまった草の根活動が、世界の国々の復旧・復興活動に貢献している。

= 神戸発「まけないぞう」を全世界へ（神戸市） =

神戸市の被災地 NGO 協働センターでは、阪神淡路大震災当時、救援物資として送られてきたタオルを仮設住宅に住む高齢者らがアレンジし、「まけないぞう」として商品化・販売。現在では、収益金の一部を各地の震災被災地に送付。活動の輪の中からは、中国・四川大地震の際にご当地色を出したパンダも誕生し、「ぞうの兄弟たち」が世界中の被災者たちを繋いでいる。



世界にひろがる NGO 協働センターの「まけないぞう」

県民の声から・・・

- 阪神淡路大震災を契機に、本格的に社会を変えるシステムづくりが必要であると思い、活動を始めた。社会の不平等は、全世界的な枠組みでなければ、解決できない（イベント開催等を通じて社会平和の実現に取り組む NPO 法人神戸国際ハーモニーアイズ協会）

< 環境問題に対処する技術の活用により、世界レベルの貢献に取り組む動きも >

・CO₂抑制、省エネ、鉄道技術等を用いて、世界規模の環境問題改善に貢献する企業の活動も活発化しつつある。

= 低床電池駆動路面電車の開発 =

排ガスを出さず環境に優しい交通手段として路面電車が注目を集める中、電池だけで動く世界初の実用車両を川崎重工業が開発。電柱や架線をなくせば景観を損なわない上、建設費や維持費も安く済み、環境負荷の低減につながる事が期待されている。



低床電池駆動路面電車「SWIMO」

< 兵庫の環境技術が世界の環境問題の改善に貢献 >

・兵庫の環境技術が開発途上国で深刻化する環境問題等に対処するために移転されたり、ロールモデルが発信されるなど、世界の環境問題を解決している。

= ブラジルパラナ湾沿岸における環境モニタリングシステムの構築 =

ひょうご環境創造協会では、日本・ブラジル協働で調査・分析等を実施し、環境モニタリング用のマニュアルを作成。マニュアルは、モニタリングを誰もが容易に利用できるよう多数の写真を使用するなどの工夫が施され、現地の人々の日常的な活用へと繋がっている。



環境モニタリングシステム

= モンゴルを緑に（神戸市） =

かつては緑豊かな森林であったが、地球温暖化等の影響による山火事により、砂漠と化してしまったモンゴル内陸部。「モンゴルに再び緑を！」をスローガンに、県内事業者・関係団体が連携し、省エネルギー技術や緑化・植林技術等の移転をはじめとする森林保全・緑化等に取り組んできた。「地球温暖化対策クリーン開発メカニズム」の試験的導入や、将来の現地の植林活動に向けた育苗技術の移転等、様々な取組を行った。



モンゴルでの植林

県民の声から・・・

- 公害の大きかった街が変貌し、本当にきれいでよい環境になった。もっともっと環境に関する取組を PR し、取り組みを広めていくべきではないか（H20 阪神南地域夢会議）

< コウノトリの再生がアジアの生物多様性の危機を救うロールモデルに >

- ・ 地域での取組が世界的なロールモデルとなり、世界の課題解決の糸口に繋がっている。

= コウノトリを通じた地域づくりが世界的モデルに（豊岡市） = コウノトリを但馬の大空に再び蘇らせるためには、地域全体の環境づくりを推進していくことが不可欠なことから、地域住民の参画により、コウノトリの野生復帰の取組が進んでいる。絶滅危惧種を有する他の国々からも注目され、世界的シンポジウムの開催までに発展している。



地域ぐるみで取り組むコウノトリの自然放鳥

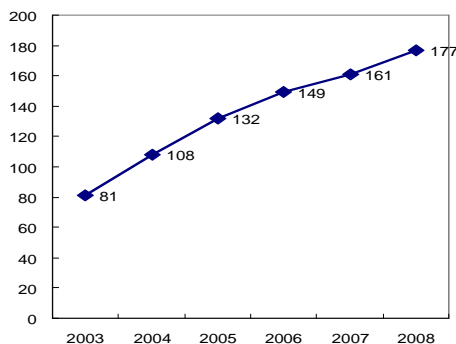
専門家の意見

- 「兵庫には環境分野で誇れる資源がたくさんある。たとえば、豊岡のコウノトリ再生。絶滅危惧種をどのように持続可能な軌道に再生できたか、というモデルケースであり、もっと海外の人々にも取組を普及して欲しい（IGES（地球環境戦略機構）関西センター）」

< 県内で増える草の根の国際支援 >

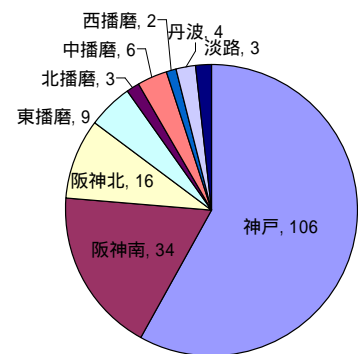
- ・ 国レベルでは手の届かない、きめ細かな取組や、顔の見える国際協力を地域レベルで果たしていく機会が拡大。県内でも、国際貢献や交流の促進を目的とする NPO の数が増加している。

【国際協力に取り組む県内 NPO 法人数の推移】



兵庫県地域協働課資料よりビジョン担当課作成

【国際協力に取り組む NPO 法人の地域別設立状況】



内閣府 HP よりビジョン担当課作成

< 兵庫の安全・安心の農業技術等、身近な取組が世界に貢献 >

- ・ 安全・安心の農業の技術やシステムがモデルになり、世界的な食の安全安心の実現に貢献している。

= 「有機の里」に世界が学ぶ（丹波市） =

旧市島町にある「有機の里」が国内外の有機農家や消費者の注目を集めている。地域の有機農家の取組の見学会には、アメリカやフランス等から多数が参加した。



安全安心の農作物を販売する「有機の里」

= 中国の農村を支援する“コウノトリ育む農法” =

安全・安心な食と農の普及に取り組む NPO 法人「食と農の研究所」(神戸市)では、農薬と化学肥料に頼らず安全な米を生産する兵庫の稲作技術「コウノトリ育む農法」を用いて、中国の農家をサポートする、技術支援を行っている。

< 世界から注目を集める兵庫の教育システム >

- ・ 基礎学力の向上に向けた取組や、トライ・やるウィークなどをはじめとする体験学習の実施等、兵庫の教育の取組が海外から注目を集めている

事例：中東のアラブ首長国連邦では、兵庫県の取り組んできた教育への取組に関心が高まっている。アブダビ教育評議会事務局長は、「国を治めていくには、人づくりが喫緊の課題。文化や作法を重視する日本の教育制度を高く評価しており、兵庫県にも協力いただければありがたい」と語る。



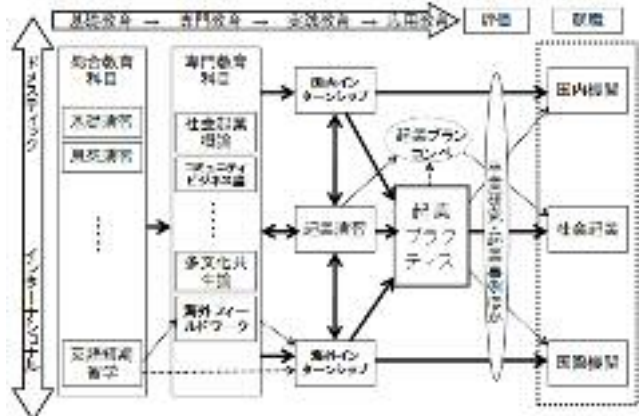
アラブ首長国連邦で兵庫の教育を説明する井戸知事

< 社会起業家の育成に取り組みはじめた県内大学 >

- ・ 非営利団体による新事業創出や社会起業家の育成などに専門的に取り組む県内大学も出てきている。

= 国内初の社会起業家学科 =

関西学院大学では、日本初となる社会起業家学科を設置。社会的弱者のニーズに対応した解決プランの企画力、起業のための人的ネットワーク形成力・資金調達力、事業を支えるための ICT 及びコミュニケーション能力や国際的な視点とコミュニケーション能力を養い、地域社会や国際社会に貢献できる行動力を身につけた人材づくりをすすめている。



出典：関西学院大学 HP